新京日日新聞
夕刊
三月二十一日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局専用(3)三三二五 營業局専用(3)三三二〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

會期殘す所は四日 延長問題具體化せん

政府側は日數決定に苦慮か

【東京國通】今議會の會期も殘すところ僅かに五日となり、政府も議院もいよいよゴールを目前にして物すごいラスト・スパートをかけてゐる、しかしながら廿一日は祭日のため兩院とも休會につき實質的審議日數は四日間であつて懸案となつてゐる會期延長問題はこゝにいよいよ具體的考究の必要に迫られ、政府首腦部はこれが日數決定に對して非常に苦慮してゐる模樣である、これに關し政府側ではいづれ廿二日中には林貴族院豫算委員長から政府に對し何等かの意思表示があるものと期待してをり、當日の林首相と林委員長との會見において大體の見透しがつくとみられる

からも意義極めて重大とられる

外務省の機構改革 首相等實行言明

相當の人事刷新を斷行せん

【東京國通】最近の議會情勢は外交機構の改革を要望する聲が強く廿日の豫算總會の席上でも民政黨の工藤鐵男、牧山耕藏兩氏から端的にこれが實現を要求した、これに對し林首相および佐藤外相は全然同感なる旨答辯し、首相は將來の行政機構改革に於てその實行に着手すべきことを約し外相は人事刷新のためには外部からも人材を登用することを言明したので、外務省機構問題は現內閣に至つていよいよ具體化へと向ふことゝなつた、從つて今回の外交機構の改革は從來の案よりも大規模のものを立案することゝし近く外相から事務當局に對し參考案を立案せしめる筈であるが、外相としてはこの機會に相當の刷新を斷行する意向のやうである

廿一日は 兩院とも休み

【東京國通】廿一日は春季皇靈祭につき兩院とも休み

觀艦式の後 軍艦「足柄」 ドイツを訪問

【東京國通】來る五月二十日スピードヘッドで行はれるイギリス皇帝戴冠記念觀艦式に參列する帝國海軍の精鋭足柄は、觀艦式終了後ドイツを訪問するためキール港に寄港することに決定した旨二十日外務當局から非公式に發表された、帝國軍艦のドイツ訪問は明治四十年筑波、千歲の兩艦の訪問以來卅一年ぶりである

ル大統領 平和會議招請 を示唆

【ワシントン十九日發國通】國際情勢の逼迫から全世界は再び苛烈な軍備競爭に當面するに至つた結果、ルーズヴェルト大統領は恒久平和の確立軍事費負擔輕減のため最近ヨーロッパの某政治家に平和會議招請を示唆したる旨確言した、ハル國務長官は曰く

昨年のベノス・アイレスにおける會議のプログラムに準據の歐洲各國政府も亦平和會議を開催、國際政局の危機打開を策しては如何と最近歐洲のある政治家に極力勸說した、尤も國際會議開催をはつきり提議したわけではない

某政治家が何人かは判明しないが、右提案についてはハル國務長官が豫めルーズヴェルト大統領の諒解を得てゐたことは疑ひなく、大統領が國際平和會議招請の方式發見に腐心してゐると傳へられる關係

鴨綠江共同技術委員會 廿二、三日開催

滿鮮兩當事者によつて組織されてゐる鴨綠江共同技術委員會は廿二、三兩日日滿軍人會館において開催されるが、出席者は滿洲國側平井出委員長、運尾、島崎兩委員、井戸川臨時委員、石井、北岡、北折各幹事等、朝鮮側より大竹、榛葉、岡田各委員、松崎、坂本、加藤各幹事等で左の日程により會議を進める豫定

▲第一日(廿二日)
一、鴨綠江碧洞附近調査報告(滿鮮双方より報告)
二、水力發電內容に關する件
三、前各項施設に關する協議
四、今後における調査方法に關する打合せ

▲第二日(廿三日)
一、鐵橋下流の公安施設計畫の說明(滿洲國側)
二、右に關する討議

なほ朝鮮側一行は二十一日午後三時着京中央ホテルに投宿の筈である

黑龍江、松花江の就航船を充實化

＝現行運賃も根本的改正＝

【哈爾濱國通】哈爾濱航業聯合會では滿洲國交通部ならびに鐵道總局水運課の認可を得て鐵箭開通を契機に現行運賃の根本的改正を斷行することゝなつたが、これと同時に滿ソ國境航路として重大性を有する黑龍江、松花江航路を全面的に充實する事となり、來る四月の就航期より從來の懸案であつた哈爾濱、佳木斯、富錦間定期急行船の日發制の實施北滿砂金鑛開發によつて大發展をとげた黑河、烏雲間二百九十九キロ及び虎林、東安鎭間百九十キロの新航路を開設、又全航路に亘つて優秀船を配置してスピードアップを敢行して哈爾濱、佳木斯間定期急行船の廿四時間走航の實施、河川開通とゝもに航運の劃期的大躍進をはかることゝなつた、重要航路配船を示せば

一、哈爾濱富錦定期急行船七隻、日發
一、哈爾濱佳木斯、六隻、日發
一、哈爾濱黑河、三隻、一週一回
一、哈爾濱虎林、四隻、五日一回
一、富錦黑河、一隻、十日一回
一、富錦虎林、一隻、十日一回
一、黑河漠河、三隻、一週一回

佳木斯中心主義に 運賃を遞減す

【奉天國通】哈爾濱航業聯合會では圖佳線開通にともなふ松花、黑龍兩江航運の新情勢と黑河上流地方産業開發進展に備へて松花、黑龍兩江航路の哈爾濱中心主義を是正佳木斯中心主義を確立し全航路の充實並びにスピードアップを行ふと共に現行運賃の全面的改正を斷行し、本年四月の解氷就航期より實施することゝなつた、運賃改正の要旨は

一、佳木斯を中心とする運賃制定
一、黑龍江上流航路運賃の遞減、即ち漠河上流一割五分引、虎林上流二割引
一、區間運賃の合理的改正

等であるが、今回運賃改正ならびに鐵道開通により松花、黑龍兩江航運收入減は百萬圓に達するものと豫想される、松花江航運の基本をなす哈爾濱―佳木斯間新舊運賃を比較すれば(單位圓、一噸當り)

	新	舊	引下げ割合
砂糖	一三、一五	一五、九〇	一三・五%
種類	八、一〇	一三、一五	三三・三%
農具類	九、八五	一三、九〇	二九・一%
木製品	一三、一五	一五、九〇	一三・五%

その他現行の運賃料金規則の改正を行ひ檢料の統一、容積換算率の制定(一立方メートルにつき二百キログラム)、個數扱ひ廢止をなし、その合理化をはかることゝなつた、なほ新運賃の實施により松花江東部都市發海港向け[illegible]運賃諸掛費用大連および北鮮向け比較左の如し(一噸當り單位圓)

一、佳木斯發
イ、大連向(哈爾濱經由)

水運運賃	七、五五
鐵道運賃	二〇、九六
港灣諸掛	〇、九五
計	二九、四六

ロ、北鮮向

鐵道運賃	二〇、一三
港灣諸掛	一、九七
計	二二、一〇

二、富錦發
イ、大連向

水運運賃	九、七五
鐵道運賃	二〇、九六
港灣諸掛	〇、九五
計	三一、六六

ロ、北鮮向(佳木斯經由)

水運運賃	五、五〇
鐵道運賃	二〇、一三
港灣運賃	〇、九六
計	二六、六〇

となり松花、黑龍兩江航運の貨物輸送經路の今後の繁榮が豫想されてゐる

公海の自由強調し 米の不法に抗議

海洋漁業振興協會態度を表明

【東京國通】北太平洋東部公海における邦人出漁問題は最近北米太平洋岸の新聞雜誌に「日本の侵略」と題して頻りに論議されかつ過般の加州議會でも幾多の排日的議案とゝもに取上げられるに至つたので、海洋漁業振興協會では事態の惡化を憂慮しこの程「北太平洋東部漁業について」と題するパンフレットを作成、關係諸官廳、貴衆兩院議員をはじめ北米、カナダの關係漁業者その他に發送、わが態度を表明するとゝもに日本人漁業に對し大彈壓を下さんとする潛行運動に堂々抗議することゝなつた、聲明要旨左の如し

一、明治初年まで日本近海にはラッコ、オットセイ、鯨の漁撈のため盛んに外國船が進出する如く、日本人が生存上公海に出漁するとも國際上何んの支障があるであらうか

一、何人が公海を使用しその物産を利用するも自由である

一、公海における外國人の企業が附近にある他國の國內企業に從事する勞働者の出漁を誘致するとの議論の如きは海洋の自由と一國內の事象とを混同して立論せるもので、かくの如きを以て公海自由の原則を破壞せんとする如き考へは單に一米國內の我儘な利己的議論である

匪賊地帶を走る 新裝甲自動車

まづ通化―輯安間に運轉

【奉天國通】匪賊地帶自動車路線の守護陣として鐵道總局警務局が同和自動車に註文製作中であつた國産新裝甲バス三臺はこの程竣工、廿日試運轉を行つたが非常な好成績をあげたので近日中に匪賊地帶たる輯安―通化間に配置される事となつた、新裝甲バスは五十鈴T・X四十型全長六米卅二、全幅二米で側面及び正面は厚さ六粍、屋根は三粍の裝甲板をめぐらし、前方窓ガラスには防彈ガラスを裝備運轉臺屋根には突出した展望臺を設け、この中に輕機關銃を裝置し、四方に廻轉して襲來する匪團に應射する仕掛けとなつてをり、車體は旅客、貨物兼用で乘客廿名の收容力を有しながら普通バスと同樣最高時速六十キロといふ優秀な性能を有するみるからに精悍な姿である、一臺の製作費は約八千圓警務局では通化輯安間運轉の成績によつて全滿匪賊地帶自動車路線全部に配置して自動車の被害を根絶する方針である

財界有力者發起 大飛行機製作所建設

【東京國通】航空國策確立の必要が熱烈にさけばれてゐる折柄、今回前三井鑛山會社々長牧田環氏が中心となつて原邦造、井坂孝、藤原銀次郎、橋本奎三郎、矢野恒太、古川虎之助、門野重九郎氏等をはじめ關西側の小倉正恒氏等財界の巨頭が發起人となつて民間の一大飛行製作會社を創立することになつた、今月か遲くも來月はじめには創立發起人會を開き計畫の進捗をはかることゝなつた右計畫は住友金屬工業、古川電氣工業が製作に要する素材の提供をなして積極的な援助を約したのみならず、資本的に關東、關西の有力者をはじめオール財界がタイアップしてその支持のもとに既設會社たる三菱重工業、中島飛行機製作所に拮抗し、さらに世界的有力工場の列に入るべき巨大な民間製作場として發足するものである、その計畫內容は左の如し

一、名稱 昭和飛行機工業株式會社
一、資本金 三千萬圓
一、株式割當 發起人ならびに贊成人で大部分を引受け一部を公募する
一、事業內容、發動機ならびに飛行機の製作
一、工場所在地 東京近郊

當初の豫算は三千萬圓とするも今後技術の完成をまつて巨大なる資本に增加する豫定

右につき牧田環氏は語る

今回の計畫について幸ひ多數の援助者を得ることが出來たので近く計畫を具體化させたいと思つてゐる、この私の計畫が日本の民間飛行機製作工業に一つの刺戟となり、國民の航空知識涵養に役立てば幸ひであると思つてゐる

清水中將凱旋

【下關國通】駐滿○○隊長より參謀本部附に轉補の清水喜重中將は廿日朝關釜連絡船で凱旋した、來る廿六日上京の豫定である

日滿經濟共同委員會一行着連

【大連國通】日滿經濟共同委員會囑託商工省生命保險課長高橋明達、農林事務官山添利策、大藏事務官森永貞一郎、外務事務官大野勝三、外務屬猿渡孝、農林事務官櫻渡理平、農林局澤專一氏等一行は赴京の途廿日午前八時二十分海路着連、一行は上陸後ヤマトホテルに投宿、直ちに滿鐵始め關係方面を歷訪したが、大連滯在は四日間の豫定で廿四日赴京の筈である

人事往來

着京

▲富田祖氏(滿鐵審査役)二十日來京ヤマトホテル
▲石村實氏(會社員)同
▲脇本博司氏(パラマウント)同國都ホテル
▲荒川敏夫氏(三菱商事)同
▲坂齊保氏(興銀)同
▲常葉實氏(遞信省)同
▲神戸灝男氏(商)同
▲木村賀七氏(寶利公司顧問)同
▲增谷憲信氏(不二公司)同
▲褒出豐氏(貿易商)同
▲遠藤晃司氏(新興キネマ)同
▲野村新氏(同)同
▲宮部勵氏(官吏)同大丸新館
▲中島直治氏(商)同
▲磯部貞雄氏(陸軍技師)同滿蒙旅館
▲關口継一郎氏(官吏)同
▲石垣良一氏(京城國婦視察團長)同
▲庄司信助氏(官吏)同
▲安藤末雄氏(同)同
▲山口安男氏(同)同富士屋
▲寺井榮氏(同)同
▲長野精一氏(商)同
▲島崎廣一氏(官吏)同向陽ホテル
▲川端源之亟氏(同)同
▲加々良乙比左氏(同)同
▲北川鼎一氏(會社員)同
▲岡崎虎雄氏(同)同
▲大矢喜代治郎氏(東亞殖產)同國際ホテル
▲森田哲也氏(滿鐵)同
▲高取秀次氏(高取商店取締役)同

出發

▲小山建一氏 二十一日發奉天へ
▲谷本正雄氏 同
▲葛療大策氏 同
▲蟠生彈治郎氏 同
▲小池巖氏 同
▲篠原原也氏 同
▲高野計二氏 同
▲岡崎忠勝氏 同
▲加藤泰義氏 同
▲大賀賀市氏 同
▲久米英一氏 同海城へ
▲木村憲二氏 同大連へ
▲菅野和三郎氏 同
▲芝喜代二氏 同
▲平田尚弘氏 同
▲佐藤浪代氏 同
▲西澤勇治郎氏 同
▲明石貫八氏 同圖們へ
▲野口三郎氏 同營口へ
▲石田興司氏 同ハルビンへ
▲神澤益次郎氏 同
▲治田和一氏 同
▲大岩義雄氏 同奉天へ
▲松本宏一郎氏 同延吉へ
▲染谷保藏氏 同奉天へ

その日〳〵

□ 論戰も漸く一段落の感あつて、議會も終幕へ近づいてゆく

□ やすみなきものは寧ろ滿洲か、次々に變革や建設が進行する

□ 僻地に於ける通信網の擴充鴨綠江に沿ふての新しい施設興銀の進出などなど

□ 春呼べど未だしか、彼岸雪りが雪となる、これも滿洲らしい景色

□ 滿洲で孔子祭をやつてゐる南京では論語の言葉が語られたりする

歌はぬ樂譜 (九十五)

山中峯太郎 水門讓二畫

寄葉若葉(三)

萬壽屋旅館の玄關へ、宏は車を着けさせた。

迎へに出た番頭に

『[illegible]だ』

言ひながら、靴をぬぐさ――

『へ、さうぞ、お待ち申し上げて居りました』

平伏す番頭の頭の前へ、宏は、グッさ上つて行つた。

後に俊子は、フェルトをぬぐさ宏の靴さ一緒に、隅の方へ片づけかけた。

振り向いた宏が

『…………』

――困るナ、そんなことをしては！

さ、言はないばかりの、澁い宏の表情を、俊子はふさ上に見た。

番頭さ女中が、二階へ、二人を案內して行つた。廊下の離れのやうになつてる、下の間の八疊さ六疊が、用意されてゐた。

『君！』

さ、宏が、女中に呼びかけて

『椽に椅子があるかね』

『は、たゞ今、すぐに持つて參りまして……』

『ウム』

飾臺の前へ、ドカリさあぐらを組むさ、宏は、俊子に言つた。

『疲れたらう、今の車ではね……』

『いゝえ、ちつさも！』

俊子は、新調のセルのコートをすばやくぬぎながら、後へ來た女中に

『いゝんですのよ』

『おたゝみ、致しますから』

『…………』

仕方ないもののやうに、俊子はコートを女中に渡すさ、飾臺の傍へ來て座つた。

ホッさするさ、朝からの疲れがかすかに感じられて、この日の思ひ出が、まざまざさ頭の中に描かれた。

――かうして、わたしは……

處女の日さ別れる。ふさ身ぶるひされるやうな、肌さむい不安を俊子は、ジッさおさへるさ、そばにゐる宏を、あらためて見なほすやうに眺めた。

――この人！

たゞ、それだけの感じだつた。

――良人さして、自分をさゝげて！

これは『愛』さ思ふよりも、俊子には、むしろ『義務』さいつた感じの方が、激しく胸に來た。

『着かへやう！』

紙卷をくはへてる宏が、いきなり立上るさ、上衣をぬぎ出した。

俊子も立上つて、それを手つだつた。

女中が、みだれ箱を、かゝへて來るさ

『奥さまも、どうぞ、お着かへ遊ばしまして……』

俊子は、思はず赤くなつた

――奥さま！

覺悟してた言葉だつた。けれさ不意に言はれて、俊子は急に立ちすくんだ。するさ

『ハッハッハッ』

宏が、大聲で笑ひだして

『奥さんも、着かへたまへ！……』

悅びに醉つてる宏だつた。ズボンを蹴るやうにぬぎながら

『湯殿は、いゝんだね、オイ！』

『は、こちらさまに、お湯殿を特別に、仕度してございますから』

女中は、手早く、みだれ箱へズボンを入れた。縞のドテラを、すぐに持ちそへるさ

『どうぞ』

『ウン、奥さんも着かへたまへ』

キチンさ着こなしてる俊子よりも、ドテラ姿の俊子を見たいもんだ。宏は、さういつた眼色を、俊子の白い橫顔へ投げた。

『わたし、でも……』

すつかり羞ぢらつて、俊子は、壓されるやうな感じを受けた。

『アッヘッヘッ、いゝぢやないか早く、さ、湯へ行かう！』

『…………』

俊子は、なほも立ちすくんだ。

春は緩徐調
北滿の彼岸日和は雪花緋々
"天氣は當分しける"

やつと持ち直したかと思はれた天候は二十日深更頃から崩れ出し彼岸の仲日二十一日午前十一時頃から又もや雪となり此の向だと今日一日中は降り續くらしい模樣である、この目まぐるしい天候の變化につき觀測所では次の如く語つた

二十日天津附近にあつた弱い低氣壓が七百五十四に發達しそれが熱河から滿鐵沿線の西側を通つてシベリヤに向つて動き出したので今朝（二十一日）まで曇つてゐた新京附近は遂に雪となつたが低氣壓が早く通過すれば天候も早く恢復するであらうが今日（二十一日）明日（二十二日）はしけるだらう、今朝の氣温は零下五度二で餘り寒くはないがこれは南東の風が吹いてゐる爲めで天候が變れば風も北西に變るであらうから少し寒くなるだらう

大連の女中殺し 犯人逮捕

【大連國通】廿日午後一時頃大連文化台九八番地稻坂喩吉方女中吉村ヤスさんを殺害した犯人につきその後大連署必死の捜査效を奏し、午後五時頃沙河口西町道路徘徊中の擧動不審な男、目下現住所不定原籍神奈川縣三浦郡三崎町鈴木賢太郎（四五）を引致、嚴重取調べの結果同人は包み切れず右殺害犯人なることを自白した

驛の茶湯賣死亡

新京驛構内茶湯立賣營業者香山誠一氏はかねて急性肺炎で同仁醫院に入院加療中であつたが二十一日午前五時死亡した

滿洲國官吏
生保加入第一回は義務貯金で充當
獲得に特別規定成る

滿洲に於ける生命保險制覇を目指して二月初旬開業した滿洲生命保險會社は創業以來業務擴張に努力を續け大連、奉天、哈爾濱に支店設置を計畫し、高橋理事長は關東州の支店設置促進折衝のため十九日赴連したが、こんど滿洲國官吏加入者の便宜を計るため、總務廳と協議の結果第一回拂込金には官吏義務貯金の拂戻しを受けて充當する特別規定の成立を決定した、この官吏義務貯金は退職の際以外は絶對に拂戻しを受けることの出來ないものであるが特に生保政策の必要から許可されたもので、同社加入擴張に一段の拍車をかけるものとみられる

金を出せ！ 近ごろ物情騷然

千早町三丁目大谷澪子（假名）さんが二十日午後十一時十五分頃滿鐵消費組合前第四號線バス停留場でバスを待ち合はせてゐると年齡三十五六才位の一支那人が突然襟首をつかみ金を出せと拳銃やうのものを擬し恐喝したので澪子さんが大聲で助けを求めたところ件の男は一物も得ずに逃げ去つた

可哀相なニーヤ
馬車御難―城内王共益（三〇）が廿日午後八時頃客を乘せて常磐町滿鐵社宅十二號前に來るや〃到了〃と車を止めさせ一圓だから八十錢釣を出せといふのでニーヤ君全財産を探して八十錢出すやそれを手早く失敬して何れかへ雲隱れしてしまつた、ニーヤ君一日の働きがこれでフイと泣きつ面で屆け出た

南關一帶が面目を一新
糞尿捨場を合安屯に移轉

新京市民の一日に放出する糞尿は附屬地、特別市を合して約二十臺のトラックで運搬し附屬地は臺安屯で伊通河に投入、特別市の方は南關孔子廟裏手に捨てられてゐるが、國都の膨張は數年前まで郊外の樣に思はれてゐた現在の南關捨場を抱擁して附近には工場の新設、居住者は增加し、漸く市民の怨嗟の的となり糞尿捨場の移轉問題が擡頭し、衛生隊では對策を考究中であつたが、滿鐵、特別市衛生隊共同負擔の下に工費三萬圓を投じて合安屯を距る約二粁の地點に共同捨場を設置することに決定した、新設の捨場は下水パイプに連繫して伊通河に注がれるもので工事竣工の曉は南關一帶も面目を一新して清掃されであろう

春季皇靈祭遙拜式

新京神社の春季皇靈祭遙拜式は二十一日午前十時から莊嚴裡に擧行された、事務局鯉沼參事を首め各氏子總代等列席者一同着席修祓のうち神職恭しく遙拜の辭を奏上、列席者順次玉串を奉奠嚴肅裡に式を閉じた（寫眞は遙拜式）

機關區裏手に 邦人轢死體

廿一日午前六時四十分新京發大連ゆき列車乘務員が新京機關區裏手上り線路西側に日本人男（推定年齡四十五歲位）の轢死體があるのを發見、新京署に急報した、新京署から係員が檢視せるも所持品なく身元不詳

土建景氣一段落で
業者續々と引揚げ

最近國都の建築も一段落、先のみ透しがついたのか、內地朝鮮方面の物凄い軍需景氣に幻惑されてか建築業者で繁榮の國都を後に次々內地或は朝鮮の各地に引揚げるものが現れ華やかな二、三年前とはまるで反對の現象を呈してゐるのは注目すべき傾向である、昨年後半期から建築業者で新京を引揚げたものは橋本組、宮本組、宅見組、東興公司、久保組、吉昌公司、復元公司、碇山組等で近く又大物の引上げが噂されてゐる

祀孔春祭 張總理ら出席

文の神として祀られる孔子祭は、廿一日午前八時から南關孔子廟での下に張總理以下各部大臣出席嚴肅裡に行はれた【寫眞は孔子祭】

文教部又ヒット
建國精神に粹な音響効果
滿洲國固有の鼓書利用

文教部が日本に於ける紙芝居を滿洲色にして社會教育に活用する事になつたのは既報の通りであるが、今度はこの紙芝居にも匹敵する大衆的人氣のある滿洲國固有の「鼓書」を利用、國家的統制のもとに前者同樣の效果を擧げることになつた、鼓書とは一種の音樂で藝人が町から町へと五寸程の長さに切つた竹二つを片手に組合せ、手先きを黐しながらカチ〱と其處に起る單調なリズムに合せて民謠を唄ふものであるところが從來この藝人に唄はれる民謠は舊政權時代のものが多く從つてその歌詞の內容には全然國情に合致せぬものがあるので、先づ當局者の手で建國精神を吹きこんだ歌詞を作製、各省教育廳をしてこれが積極的普及を圖り社會教育に效果を擧げんとするものである

訪日宣詔記念美術委員會 四市に結成

皇帝陛下御訪日宣詔を記念し奉り併せて美術振興をはかるため滿日文化協會主催の下に御訪日宣詔記念日たる五月二日を期し陽春の都において訪日宣詔記念美術展覽會が開催されることはさきに文教部より發表されたが、これを機として開催主旨に全面的支持を申合せさらに滿洲國美術の強化をはかるため新京、哈爾濱、奉天、大連の各都市に訪日宣詔記念美術委員會が結成された

すなはち在滿各地の畫家は豫ねてより全滿的美術主統團體の出現を熱望してゐたが展覽會開催を機としこれに全面的支持を與へかつ同展覽會を每年開催し將來は國營美術展覽會となすべく運動するとゝもに、併せて全滿美術家の大同團結をはかるべくこの程新京、哈爾濱、奉天、大連の各都市に訪日宣詔美術委員會を結成せるものである、なほこれに對し展覽會主催者たる滿日文化協會では展覽會開催と同時に同委員會員中より代表を選んで美術協議會を新京に開催し滿洲美術の振興に資するとゝもにその頃來滿豫定の內地美術大家と在滿美術家との日滿交驩の斡旋をなす筈である、各地美術委員會は左の通りである

△州内 洋畫 二瓶氏外卅四氏 日本畫 伊藤氏外十二氏
△奉天 洋畫 稻葉氏外十六氏 日本畫 馬場氏外二氏
△新京 洋畫 池邊氏外九氏 日本畫 益田氏、水源氏
△哈爾濱 洋畫 山内氏外三氏 日本畫及書 瀧氏外四氏（以下略）

天勝一座の初日
絶讚を浴びて
超大入滿員の盛況

松旭齋天勝一行は二十日午後一時着列車で入京、興行關係者、ミス東洋の女給連始めフアンに擁せられて直ちに忠靈塔に參拜、本社を訪問、直ちに開催準備に取りかゝり豫定の通り午後六時、公會堂で初日の蓋をあけたが、例によつて例の如く大入滿員の盛況、オペレッタ、小奇術、天勝ショウ、コメデーマジック、奇術小品、歌舞伎模樣ナンセンス春は祇園粗忽の使者、チャップリン、寸劇、新古流行歌選集、大魔術、魔のホテル、曲技、新封切大魔術等々、充實した內容に觀客の滿足を買ひ何れも萬雷の如き拍手を浴びつゝ十時半めで度く幕となつた、二日目二十一日は晝間興行は中央通り町內會の買切、夜は定刻六時に開演、祭日ではあり初日に勝る盛況が豫想されてゐる、二十二日は夜間だけの開演となつてゐる

軍需インフレで
滿洲國も鉛・鐵材奔騰
‖關係業者は一大打擊‖

二十七億圓の尨大豫算が議會を通過するや軍需インフレの波にのり物價は奔騰に奔騰を續け來つたが隣國である滿洲國も當然其の餘波を受け恐慌を來してゐるが中でも騰貴の筆頭は鉛で昨年十一月末一キロトン一四十圓が本月中旬には千圓の五倍以上にはね上り續いて亞鉛一キロトン三百四十圓が〃百五十圓に奔騰してゐる、從つて鉛材を原料とする暖房店が一番打擊を受け鐵材を用ひる建築業者も恐慌を來してゐる鐵材の騰貴率を示せば（單位一キロトン）

	昨年十一月末	三月中旬
アングン	一四〇、〇〇	二〇〇、〇〇
ジョイス	九〇、〇〇	二四〇、〇〇
チャンネル	一四〇、〇〇	二〇〇、〇〇
鐵板	一六〇、〇〇	二四〇、〇〇

で木材、石材等は大した動きがみられない

イヤハート機 ホノルルで事故

【ホノルル廿日發國通】イヤハート女史は廿日午前五時四十九分ホノルル飛行場を出發ハウランドに向け世界一周の第二航程につかんとしたが滑走千呎にして顚覆し、車輪を破損、プロペラーは彎曲したゞし女史、乘組員いづれも無事で機關部の發火も危機一髮で直ぐに鎭火した、これがため當機は一旦メイーンランドに回送、修理の要あり世界一周の記錄的壯途もまづ六ケ月は延期のほかないこととなつた

新潟開港七十年記念 日本海博

新潟市では新潟港開港七十年並に市制施行五十年を記念し同港の現勢を內外に紹介するとともに將來の日滿關係上益す重要地點となるべき同地に日滿產業の全貌を一堂に展示し以て日滿兩國の親善並に文化の振興に寄與せんとする目的をもつて來る四月二十日から六月十五日までの五十七日間に亙り新潟市信濃川埋立地五萬坪の敷地を利用し新潟開港七十年記念日本海大博覽會を開催することゝなつた、經費は約百五十萬圓にして出品區域は內地は勿論各植民地並に大滿洲帝國の參加をみるべく、諸施設は產業本館、開港記念館（迎賓館）以下娯樂、文化、國防、科學、體育、宗敎その他餘興に關するもの等廿館に及ぶ豫定である

中銀對電業の 武道部試合

中銀武道部では二十日午後より電業武道部と柔劍弓道各十名宛の選手で試合を行つた、柔道は六對五の接戰で中銀が勝ち、劍道は十三對十三で引分け、弓道は四十對三十六で中銀が惜敗した

新京署卓球試合

新京署では激務の傍ら和やかな氣持で階級も年齡も超越して親睦を圖るところに能率の增進もあるとさきに撞球、將棋、圍碁の大會を開催和氣靄々裡に樂しい半日を過したが二十日午後は藤島新署長も丸腰となつて參加し警察署內卓球選手權大會を講堂で擧行した、出場者甲組、乙組各廿餘名日頃のいかめしさもどこへやら破顔哄笑歡聲のうちに試合を進め結局甲組伊藤（高等）氏が優勝して選手權を獲得した、受賞者次の通り

甲組一等伊藤、二等樽井、三等寺田、乙組一等有馬、二等安永、三等井田の諸氏

食堂車營業の ロシア料理講習會

既報、滿鐵食堂車大連營業所新京支部では內鮮方面からの滿洲視察旅行團並びに一般旅客から要望されてゐる滿洲料理、ロシア料理の一品料理、とを列車食堂車、驛構內食堂で近く營業開始すべくさる十一日から滿洲料理の講習を開いてゐたが二十日で漸く終り二十二日から向ふ十日間ロシア料理講習を開始する、講師はロシア料理權威者盛紹武氏を鐵道總局から聘し、受講者は四平街、吉林、新京その他の驛構內食堂及び列車食堂コック十五、六名の豫定である

公會堂理事 後任決定

二十日午後四時より記念公會堂に於て公會堂欠員二理事の選擧を行つた結果新任柴崎總領事代理、藤島新京署長が當選した

小包郵便課長 後任は松岡氏

關東遞信局異動で新京中央郵便局小包郵便課長から新京八島通郵便局長に榮轉した青瀨梅太氏の後任には大連中央郵便局外國郵便課長松岡健一氏が決定近く着任の豫定である

村社選手 二哩競走新記錄

【ナビイア「ニュージーランド」十六日發國通】オークランドより來着した村社、戶上兩選手は十六日當地の歡迎競技會に出場し、好調の村社選手は二哩競走に廿年來破れなかつたニュージーランド記錄九分廿秒二を零秒四短縮し九分十九秒八の記錄で優勝し大喝采を拍した

デ杯米國ゾーン 日米戰日取變更

【東京國通】本年度デ杯庭球米國ゾーンの日本對米國戰日取は四月廿九日、卅日、五月一日の三日間と決定されてゐたが、十七日米國側より日本庭球協會宛この日取りを一日繰延つて四月卅日、五月一日、二日の三日間に變更する旨通知があり、庭球協會は直ちにこれを承諾する旨返電した

綠葉會謠曲

新京梅若流綠葉會では二十二日午後四時から國際俱樂部で長谷川收同鐙、額田忠德、莿田市治の四氏送別謠會を催す、素謠は小袖曾我、杜若、小督、吉野天人、通小町、熊野、花月、千手鉢木、土蜘蛛番外獨吟、勸進帳、仕舞は田村、松風、笹の段、櫻川、囃子百萬、船辨慶以上

あす（二十二日）

▲滿洲國關岳祭
▲特別市淸掃週間第七日、大經路警察管內
▲鴨綠江共同技術委員會第一日、軍人會館
▲室町の慰靈祭、午後一時
▲青年學校專修科入學受付開始
▲本社後援天勝一行公演、午後六時、公會堂

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇絃樂四重奏（大阪）
▲七・五五歌謠曲（靜岡）コロムビア・オーケストラ
▲八・一五浪花節「宮本武藏と羽賀一心齋」（東京）東武藏
▲八・四五ラヂオオペレッタ「歌ふ水戶黃門」（東京）古川綠波外大ぜい
▲一〇・〇〇（滿鮮交換放送）（大連）

映画と演藝

京山小圓嬢 近日來演

女流浪曲界の第一人者とし、又テイチク專屬藝術家として破竹の勢にある京山小圓孃が二十四日より二日間に亘り記念公會堂で開演する、久々の御目見得、脚本に演出に更に一歩進んだ新境地の開拓に努力し精進するこの人の名調美聲は名浪藝家初代小圓の再來としてファンを唸らすであらう

シャンタル、オトモンの顔合 「海を行くもの」

「沐浴」「熱風」で美貌を謳はれたマルセル・シャンタンが、「みどりの園」のジャンピエール・オーモン、「戰ひの前夜」の名優ヴイクトル・フランサンを相手に主演した佛蘭西映畫「海行くもの」が東和商事の手で獲得、近く入荷することになつた、これは「女だけの都」「我等の仲間」と第一級の名作ばかり執筆してゐるシャルル・スパークのオリヂナル・シナリオで海に生きる海軍士官たちの生活を描き「かりそめの幸福」のマルセル・レルビエが監督に當つてゐる

おつる巡禮歌

新興京都「押本十之輔が「青空浪士」に次いで監督する作品で、巷間有名な「阿波の鳴門」の映畫化である、シナリオは當代この會社のピカ一「祇園の姉妹」「浪華悲歌」等でい、腕をみせた依田義賢の擔任、主演者は大谷日出夫の阿波十郎兵衛、鈴木澄子のお弓、日高照子のお鶴その他葛木香一、寺島貢、小泉嘉輔、玉置惠之輔、水野浩等が出演新解釋とは言つてゐるが、專らお涙頂戴を狙つたもの、このところ新興さんの企劃は講談種がお好きである、撮影は原義勝の擔任、帝都キネマ次週封切

松旭齋天勝一座
日時 三月廿日より三日間
場所 記念公會堂
讀者優待割引券
本券持參者に限り入場料一圓のところ三十錢引き(但大人一人一枚限り)
新京日日新聞社

ける綱引に勝つた方の保千代氏が御紹介しましたから、今度は負けた千代駒姐さんを引つぱり出さぬことには公平でありません、よつて、ちよつぴり……、彼女、かなり大きい方ですが身長は五尺一寸二分五厘、體重十一貫二百八十五匁三分ださうです、勿論これは彼女自身で云ふところ、多少割引がしてあるかも知れません、朗らかに彼女はうたふ『男でも惚れ〴〵するよな男でなけりや粋な年増はほれやせぬゥ』と、どうです、この資格にパスする自信のある方はありますか?……殘念ながら彼女の寫眞が手許にありません

雜音

「新しき土」獨逸版で盗をあけた豊劇の初日は半どんに相當して好調なスタートを切る▼ドイツ版は定評通り確かに伊丹版より優れてゐる、テーマには變化はないのであるが、無駄が省かれて内容も豊富だし、ストオリイも前作のやうに不徹底なものでなく整然と一貫したものを見せてゐる、作品一個の優劣がカッチングによつて如何に大きく左右されるかを雄辯に知らしむるものである、さりながらこの優劣の差はわれ〳〵日本人として甚だ心外千萬な事ではある▼「群盗傳」第二部は第一部を受難篇とすれば復讐篇に相當するもの、前篇以上の展がりを期待してゐたが、依然として私憤的行動以上に出てゐない、寧ろ月並な肉親の葛藤の中に視野が狭められてゐるのは甚だ遺憾、大衆小説的興味の孵りに盡きる

サボテン

先日は八千代館藝者部屋に於

月曜　舊二月十日
戊申　三月二十二日
大安
執
畢宿

●一白の人 勇躍突進して益々榮達すべし文書調印注意 甲と乙と申が吉
●二黒の人 計畫の實戰に蹈み出すべき日次第に發展す 辛と壬と丑が吉
●三碧の人 終日を混亂に過ごさんとす又病厄盗難注意 乙と丁と申が吉
●四綠の人 憂を内に含め共喜び外より來らんとする日 甲と乙と丁が吉
●五黄の人 多少の不利は忍びて圓滿に解決するが得策 辛と戌と丑が吉
●六白の人 自由氣儘は失敗に歸する事あり病難に注意 丁と壬と癸が吉
●七赤の人 諸事進んで妨げ無く利益を擧げ得べき吉日 辛と戌と壬が吉
●八白の人 多少の障碍は排除し事業に執着して突進吉 壬と癸と丑が吉
●九紫の人 些細なる紛擾も後には大痕の基となる警戒 甲と巳と辛が吉

附屬地印紙税令近く公布さる

滿鐵附屬地印紙税實施に關する勅令が近く公布されることゝなつたが、その內容は現行滿洲國印花税法とほゞ同樣のものであつて課税物件は
一、財産權の得喪を證明すべき證書および帳簿
二、財産權の變更を證明すべき證書および帳簿
三、財産權に關する追認を證明すべき證書および帳簿
四、財産權に關する承認を證明すべき證書
に限られてゐる、その税金は該文書に税金相當額の收入印紙を貼附して納付するのである、本法は四月一日より實施さるる筈である、なほこれと同時に附屬地內においては滿洲國印花税法が邦人に對して適用をみるはず、右に關し十三日滿鐵當局が發表せる滿鐵附屬地印紙税令案の要點左の如し

南滿洲鐵道附屬地印紙税令案要綱

第一、財産權の得喪又は變更を證明すべき證書及び帳簿並に財産權に關する追認又は承認を證明すべき證書を作成する者は印紙税を納むる義務あること

第二、左に掲ぐる證書又は帳簿を作成する者はその作成の時證書は一通毎に帳簿は一冊毎に左の區分に從ひ印紙税を納むること

△種類

一、消費貸借契約の成立に關する證書、二、當座貸越契約の成立に關する證書、三、請負契約の成立に關する證書、四、不動産又は船舶の所有權移轉證書、五、鑛業權、租鑛權、特許權、意匠權又は商標專用權の移轉證書、六、贈與契約の成立に關する證書、七、遺贈證書、八、遺産分割證書、(税率)記載金高百圓以下のもの三錢、同五百圓以下のもの十錢、同千圓以下のもの廿錢、同一萬圓以下のもの五十錢、同一萬圓を超ゆるもの一圓、記載金高なきもの三錢、九、法人の定款、十、組合契約の成立に關する證書、(税率)二圓、十一、賃貸借契約の成立に關する證書、十二、運送契約の成立に關する證書、十三、物品又は有價證券の賣買契約の成立に關する證書、十四、雇傭契約の成立に關する證書、十五、寄託契約の成立に關する證書、十六、無盡契約の成立に關する證書、十七、債務保證書、十八、委任狀、十九、質權、典權又は抵當權の設定證書、廿、株券、廿一、社債權、廿二、株式申込書、廿三、社債申込書、廿四、構成員相互の利益の爲に事業を營むことを目的とする法人又は法人に非ざる社團の發する出資證券、廿五、保險證券、廿六、運送貨物引換證、廿七、倉庫證券、廿八、船荷證券、廿九、約束手形、卅、爲替手形、卅一、銀行の發する預金證書、卅二、權利の變更に關する證書、卅三、追認又は承認に關する證書、(税率)三錢、卅四、發貨票、卅五、金錢又は物品の領收書、(税率)記載金高十圓未滿のもの一錢、同十圓以上のもの二錢、記載金高なきもの一錢、卅六、商品券(税率)五錢、卅七、前各號以外の證書(税率)三錢、卅八、通帳(税率)十錢、卅九、判取帳(税率)一圓、

證書又は帳簿に金高記載なきも證書面に標記しある價額の單位その他の記載事項によりその金高を算出することを得るものはその總金額をもつて記載金高と看做すこと

第三、左に掲ぐる證書および帳簿に關しては印紙税を納むることを要せざること
一、官廳又は公署の作成する證書又は帳簿、二、公務員の職務上作成する證書又は帳簿、三、國庫金その他の公金の取扱に關しその取扱機關の作成する證書、四、祭祀、宗教、慈善、學術、技藝その他公益のためにする寄附に關し作成する證書、五、祭祀、宗教、慈善、學術、技藝その他の公益を目的とする法人の寄附行爲又は定款、六、小切手、七、手形及證券の裏書又はこれに併記したる領收書、八、手形の引受及保證、九、手形または證券の拒絶證書、十、手形または證券の複本および謄本、十一、株券または社債券に記載したる讓渡の證明書、十二、主たる債務の證書に併記したる擔保契約書、十三、金融組合または金融組合聯合會の作成する證書または帳簿、十四、運送契約に基き運送業者の作成する貨物送狀、十五、質札、十六、貸通帳、十七、勤務通帳、十八、乘車券、乘船券または各種入場券、十九、前揭第二の一乃至八、十一乃至十三、廿九乃至卅三、または卅七の證書にしてその記載金高十圓未滿のもの、二十、前揭第二の三十四乃至三十六の證書にしてその記載金高一圓未滿のもの又は營業に關せざるもの

構成員相互の利益の爲に事業を營むことを目的とする法人または法人に非ざる社團の營む事業はこれを營業と看做すこと

第四、印紙税は證書または帳簿に收入印紙を貼用してこれを納むること、但し大使の定むる所に依り印紙税額に相當する現金を政府に納付して證書又は帳簿に税印の押捺を受け印紙の貼用に代ふることを得ること

第五、外國貨幣をもつて金高を記載する證書については大使の定むる所に依り內國貨幣に換算したる金高をもつてその記載金高とすること

第六、證書または帳簿の作成者印紙を貼用するときは證書又は帳簿の紙面と印紙の彩紋とにかけて捺印その他の方法を以て判明にこれを消すこと

第七、税務官吏は印紙を貼用すべき證書若は帳簿を檢査しまたはその所持者を尋問することを得ること

附 則

本令は昭和十二年四月一日よりこれを施行すること

本令施行前作成したる帳簿を引續き使用するときは本施行の際新なる帳簿を作成したるものと看做すこと

南滿洲鐵道株式會社の作成する證書及び帳簿に關しては印紙税を納むることを要せざること

南滿洲鐵道附屬地印紙税令施行規則案要綱

第一、印紙税の規定により税印の押捺をうけんとするものは便宜の税務署長又は税務署出張所長にその旨を申出で印紙税額に相當する現金を納付しその領收證を添へ税印押捺を受くべき用紙と共に左の事項を記載したる税印押捺請求書を新京税務署長又は奉天税務署長に提出すべきこと
一、住所及氏名又は名稱
二、證書又は帳簿の種類、
三、證書用紙の枚數及其の記載金高

第二、税印押捺は同一種類の證書又は帳簿の件數が一廉百件以上に非ざれば之を請求することを得ざること

第三、税印押捺請求者その請求に係る證書又は帳簿の用紙を郵便により返送を求めんとするときは返送に要する郵便料金に相當する郵便切手を添へ税印押捺の請求と同時にその旨を申出づべきこと

第四、税印押捺濟の用紙にして證書又は帳簿の作成完了前損傷又は汚染したるものあるときは同一種類に屬し且一廉十件以上に限り代用紙を提出し更に税印の押捺を請求することを得ること

前項により代用紙に税印の押捺を受けたる場合に於ては損傷又は汚染したる用紙は税印の抹消を受くべき事

第五、外國貨幣を以て金額を記載する證書に付ては其の作成の日の前日の相場に依り之を內國貨幣に換算したる金額を以て其の記載金高とすること

第六、證書又は帳簿に相當印紙を貼用せず又は印紙税令の規定に依り税印の押捺を受けざる者は證書又は帳簿一件毎に脱税高の二十倍に相當する罰金又は科料に處すること、但し科料金額にして五圓を下るときは五圓とすること

第七、證書又は帳簿の作成者印紙を貼用したる場合において所定の消印を爲さざるときは證書又は帳簿一件毎に卅圓以下の罰金又は科料に處すること

第八、税務官吏の職務執行を拒み、妨げ若くは忌避したる者又はその命令若くは處分に違反したる者は二百圓以下の罰金又は科料に處すること

第九、印紙税に關する罪を犯したるものについては刑法第卅八條第二項但書、第卅九條第二項、第四十條、第四十八條第二項、第六十三條及び第六十六條の例を用ひざること

第十、印紙税を納むべき者の代理人、戸主、家族、同居者、雇人その他の從業者にしてその業務に關し印紙税に關する罪を犯したるときはその印紙税を納むべき者を處罰すること

前項の場合において納税者が未成年者または禁治産者なるときはその法定代理人を處罰す、但し營業に關し成年者と同一の能力を有する未成年者についてはこの限りにあらざること

第十一、法人の代表者またはその雇人その他の從業者法人の業務に關し印紙税に關する罪を犯したるときはその罰則を法人に適要すること

畜犬取締て一石二鳥の効果

【京城支局】頻發する狂犬病豫防陣の徹底を期せしむるため總督府警務局では數年前來各道で飼育する畜犬數の調査を行ひ豫防注射を嚴重に實施してゐるが豫防を受けざるもの或は屆け出なきものは野犬と見做して片ッ端から捕殺を勵行せしめてゐる結果昭和九年末迄の畜犬總數は百五十二萬餘頭であつたものが十年末には百四十六萬頭更に十一年には百三十八萬餘頭と減少し取締の徹底に伴ひ畜犬數もまた狂犬病も漸減の好成績であり特に犬皮は最近軍需品及防寒具類製造原料としてその用途が開拓されてゐるので警務局では今後この一石二鳥の計畫に基き極力畜犬の取締を嚴重に勵行せしむる計畫である

中國銀行奉天支店が東邊道に支行設置

【奉天國通】中國銀行奉天支店は最近滿洲國、邊道復興委員會辨事處成立により東邊道僻陬の各縣の將來の發展に着目し、東邊道各縣への積極的進出を計畫し目下行員を現地に派遣し調査中で、近く通化をはじめ主要都市三、四ケ所に支行を設置する計畫を進めてゐる

電業株主總會ての吉田社長挨拶

(昨夕刊四面に續くものである)

ニ、關係會社投資に付て申しますと、株式投資額は三百四十二萬二千圓、貸金投資額に二百六十一萬九千圓でありまして、前期末に比し株式投資額に於て十五萬一千圓の減少、貸金投資額に於て四十九萬七千圓の増加となつて居ります。之を創業當時(昭和九年十二月末)に比べますと、後會社の直營に振替へられたものも含めて八五%以上の増加率を示して居るのであります

ホ、資産內容に付て申しますと、資産總額は一億二千九百六十三萬二千圓でありまして前期末に比し百二十七萬八千圓の増、更に顧みて昭和九年十二月末に比較致しますと實に二八、四%の増となつて居るのであります

四

尚此の機會に事業統制の推移に付て申しますと、

1、支店は増減なく十箇所であります。

2、今期より新に本店直轄出張所なる新機構を設け、承德、鐵嶺、牡丹江、洮南の四出張所を設置致しました

3、興業課直轄營業所としては牡丹江、承德が本店直轄出張所となり、凌源が承德出張所に編入せられ、一方勃利に新に營業所を新設致しましたので、數の上では四箇所となり、前期末に比し二箇所の減であります

4、關係會社としては採會社を加へて二十四社でありまして、前期末と變りはありませんが、其の中、前期中に含まれてゐました綏中電燈公司を相當に移し之を錦縣支店に編入し鐵嶺電燈局を同じく直營に移し出張所とし、新に綏芬河及通化が關係會社として入つて居ります

五

次に本期中に於ける主要建設工事に就て其の概況を申上げることに致します

イ、發電所關係と致しましては、

1、安東發電所の增設 三千KWターボ發電機一台、前期中より引續きのものでありまして本期完成致しました

2、營口發電所の增設 二千KWターボ發電機一台、目下工事施行中であります

3、錦縣發電所の增設 千五百KWターボ發電機一台、前期中より引續き建設中のものでありまして本期完成致しました

4、新京發電所の增設 (A)五千KWターボ發電機一台、前期中より引續き建設中のものでありまして本期完成致しました (B)一萬KWターボ發電機一台、目下工事施行中であります

5、齊々哈爾發電所の增設 二千八百KWターボ發電機一台、目下工事施行中であります

6、牡丹江發電所の增設 二千三百二十KWターボ發電機一台、目下工事施行中であります

ロ、發電所關係並送電線路關係に就ては管々しくなりますから說明を省略致します

六

次に水力發電問題に付て一言申上げて置きます。本件に關しましては既に前回の定時總會の席上、水力發電は國營を以て之に當ることに關東軍並滿洲國政府の方針が決定せる旨申上げて置きましたが、愈々本年一月一日より滿洲國國務院內に水力電氣局の設置を見、第二松花江に容量二十萬KM、特別會計に依る建設工事費三千八百萬圓、五箇年計畫に依る發電所の建設が目論まるゝことゝなりました一方鴨綠江水力發電問題に付きましても、之が根本方針に關し、朝鮮總督府、滿洲國政府、關東軍に於て協議が進められてゐるかに仄聞して居りますが、勿論當社と致しましては社業を進める上から之と密接不離の關係を保ち、萬遺憾なきを期し度いと考へ居る次第であります

七

最後に料金問題に付き一言申上げます、現在電氣料金は種々の理由に依り電氣料金統制の完了を見るに至つて居らないのでありますが、當社は其の本來の使命に鑑み、創業以來夙に全般的料金の統制を意圖し、安價良質の電氣を供給することを念願として努力して來つたのでありまして、今般更に昭和十二年一月一日より全滿主要都市の料金大幅値下を斷行したのであります、將來共料金統制に關する方面に寄與し、又一方需用家各位の爲にも出來る限りの便益を圖る考であります

之をもちまして私の挨拶を畢ることと致します

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】

定價 一ヶ月壹圓 一部五錢
廣告料金 普通一行 ... 特別一行 ...
發行所 新京永樂町四ノ二 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)二三二〇 營業局專用(3)二三二五
發行人 十河忠
編輯人 松本榮勇
印刷人 水越内之介

鴨綠江共同技術委員會
けふから軍人會館で開催
大竹内務局長等昨日來京

鴨綠江を中心とする滿鮮共同技術委員會は過般滿洲側委員長平井出總務司長以下の赴城に依り好調裡に根本的折衝の成立をみたが、更に細目具體的要綱打合せの第二次委員會出席のため朝鮮側委員長大竹内務局長、委員榛葉土木課長、同岡田遞信局海事課長、幹事松崎技師、坂本内務局事務官の關係者は廿一日午後三時着列車にて來京、廿二日午前十時より日滿軍人會館に於て開催の第二次共同委員會に出席することゝなつたが、今次の會議に於ては

一、鴨綠江碧洞附近調査の滿鮮報告
二、水力發電所の内容に關する朝鮮側の説明
三、鐵橋下流港灣施設計畫に關する朝鮮側要望
四、鐵橋下流港灣施設に關する滿洲國の設計計畫に關する説明

の討議をなすことゝなつた

來京の大竹内務局長は左の如く語る

大竹内務局長語る

鴨綠江水力電氣發電所の設立計畫については未だ地理的關係、即ち設立位置の確定しない今日發電計畫に關する具體計畫に就いては判然と説明する譯には行かないが、今次の鴨綠江技術委員會はダム設置に依る交通關係即ち舟便を中心とする水運渠の今後の關係に就き協議する筈である、發電所設置のため鴨綠江水運上大きな支障を來たすことは政策上面白からぬことで此の點種々協議したいと思つてゐる、東京でも問題となつてゐるが朝鮮總督府としては實情に即した腹案も有してゐるが何とも言へない、今回の委員會は水力發電計畫に併行して障害除去の下準備に過ぎない

なほ一行は午後六時半より中央飯店の國務總理大臣の招宴に臨んだが日程及び委員會出席者は左の通りである【寫眞は驛頭の大竹内務局長】

▽三月二十二日 午前十時 於軍人會館 會議
中食 於軍人會館 平井出總務司長の招待
▽三月二十三日 午前九時 於軍人會館 會議
午後六時半 於鹿鳴春 交通部大臣招待
一、交通部大臣挨拶
二、議事
(イ)鴨綠江碧洞附近調査報告 (朝鮮側)
(ロ)同 (滿洲國側)
(ハ)水力發電所の内容に關する説明 (朝鮮側)
(ニ)前各號に關する施設の協議
(ホ)鐵橋下流港灣施設計畫に關する説明(滿洲國側)
(ヘ)前號に關する討議
(ト)今後に於ける調査方針に關する協議

共同技術委員會出席者

一、滿洲國側 委員長交通部總務司長平井出貞三、委員交通部工程科長蓮尾誌藏、委員安東航政局總務科長島崎庸一、臨時委員土木局第二工務處長原口忠次郎、臨時委員交通部水運科長井戶川一、幹事交通部事務官北折澄太郎、幹事交通部技佐北畠啓、幹事交通部事務官石井辰雄、書記交通部屬官小野彥馬、書記交通部屬官武知俊幸

二、朝鮮側 委員長(會長)内務局長大竹十郎、委員内務局土木課長榛葉孝平、同遞信局海事課長岡田修一、幹事遞信局海事課技師松崎嘉雄、同内務局土木課事務官坂本嘉一、書記遞信局海事課書記金木良之助、同内務局土木課屬石原豐造、局長秘書内務局土木課屬鈴木太平、遞信局電氣課技師加藤韓三

三、部外參加者 關東軍第一課參謀小川中佐、第三課參謀國分中佐、同交通監督部總務課長横山大佐、同同水運課長渡邊少佐、駐滿海軍部參謀中岡中佐、大使館朝鮮課長高橋(服部)、總務廳企畫處長松田令輔、同主計處長古海忠之、同法制處長神吉正一、土木局長直木倫太郎、水力電氣建設局工務處長本間德雄(後藤憲一)外交部政務司長代理亞細亞科長糸賀(要)、實業部統制科長椎名悦三郎(高津、五十嵐)

海上平穩に歸し 御名代宮 御安航

【平安丸廿一日發國通】横濱御發港以來惠まれなかつた天候も廿日夜半より恢復して廿一日は海上平穩、御召船はスクリユーの音快く御安航を續く、この日兩殿下には御起床と共に宮中における春季皇靈祭の御遙拜を遊ばされたのち天皇陛下に御親電を御發送あらせられた

依蘭縣匪襲續報
"暗黑の市街に 掠奪放火の暴行"
山本大信號支社長の脱出談

【哈爾濱國通】依蘭市街匪襲の渦中より逸早く飛行機で脱出した三姓貿易館大信號支社長山本昇氏は廿日午後五時來哈、直ちに商議ビル三階七號の大信洋行に落付いたが、當夜の悽慘なる模樣を大要左の如く語る

匪團が襲撃して來たのは貴夜中の十二時四十分頃で、西北側當發電所方面から五六十名づゝ各隊に分れて市街の西南側にある天興火磨にまづ放火し、一部を待機させ、匪賊がこの方面にあると見せかけ警備手薄な內に亂入し商務會、阿片商慶裕號等軒並に掠奪をほしいまゝにし、漸次中央大街に流れ込んで來ました、匪團は市の中央にある

私の

店の前で一旦勢揃ひし、やがて彼等の目指す中銀に向つたのですが、街燈、軒燈を全部打こわして市街は眞闇なので、彼等は蠟燭を灯して何事か協議してゐる模樣でした、その時二階から見た匪賊の服裝は全部滿軍の服裝を着用し帽章をつけてゐました、やがて隊長の號砲一發で、どつと中銀を表から襲撃にかゝりました、一隊はまづ銀裏手に廻つた一隊は滿元茂店を掠奪して行員宿舍に闖入して文士元經理や羅副經理の宅に放火し經理や副經理の被服を着用に及んで出て來た奴もありました、最後に中銀內に侵し大金庫の破壞にとりかゝりましたが目的を果さず事務所の器物を片つ端から打壞して行きました、當時居合せたたつた一人の原田出張員は地下室に

腹這

つて守備隊、憲兵隊、領事館等各方面との電話連絡に當りましたが全く死線を越へて奮闘されたのです、この原田君救出にかけ付けた井之口指導官は同君の名前を連呼しつゝ探がしたけれども匪團に阻まれ、止むなく一旦領事館に引揚げやうとした時遂に匪彈の爲に斃れたのでした、この間日滿軍警は東側領事館方面から交戰の火蓋を切り、猛烈な市街戰が開始されて流彈はうなりをたてゝ私の店附近を盛んに飛んでゐました

かくて匪團が引揚げたのは明け方の四時十分頃で、もと來た西方へ向つて引揚げのラッパを吹奏しながら潰走しました、匪團を急追する日滿軍の攻撃は物すごいばかりで私が離姓する頃は益々猛烈な銃聲が響いてゐました、匪團は日滿軍の猛烈な追撃で間もなく殲滅されるだらうと思ひます

中銀哈市支行員 依蘭に急行

【哈爾濱國通】依蘭城內匪襲事件につき當市中銀支行への入電によれば、廿日午前一時匪襲を受けたるも人命、金庫には別條なしとの簡單なる報告で詳細判明せぬため當市支行爺木總經理および關經理の兩氏は狀況調査ならびに銀行員慰問のため廿一日朝十時半發飛行機にて依蘭に向け急行した

軍民航空の發展に 綜合的中央研究機關
今年中に成立の運び

【東京國通】豫て陸海軍兩省と遞信省とが民間航空の發展と航空兵力整備の見地から對策を考究中であつたが、これが根本的指導研究機關として綜合的航空中央研究機關を新設することゝなり、今回いよいよその具體案を得たので、今議會の終了を待つて右三省間で新設すべき中央研究機關の構成、目標運用等の諸重要項目に關し愼重協議とげた上急速に具體化をはかり、今年中には是非ともこれを實現したい意向である、しかして新設を待望される右中央機關は航空機性能の一般的向上のため綜合的研究と實驗をなし又航空技術員の養成、民間航空機製作指導等をなすを主なる目標とするものであるが、これが新設後と雖も陸軍航空技術研究機關は軍の航空廠、帝大航空研究所および民間會社の研究部は原則として現在通りこれを存置し、新設機關と相俟つてそれぞれの性能に應じ特色ある研究をとげしむる方針のやうである、なほ中央機關の構成設備等は大體左の如くであるとみられてゐる

一、同機關は以上の如く現存航空研究を始め諸機關と別個にこれを新設し航空の基礎的學理を實際に移す諸行程における重要なる一般飛行機部門即ち航空機材、特殊飛行機發動機 計器、燃料、航空氣象、航空醫學等に關し、これが根本的研究と製作指導を行ふ

一、同機關では現在の單一研究機關では到底持ち得ない特殊大風洞、大實驗水槽、實驗用飛行場等を設備するは勿論、その他航空研究實驗に要する諸設備一切をなす

"今回の株價昂騰は 健全性がある
今後の推移を注視"
藏相議會で言明

【東京國通】連日の株式高は廿日に至り更に沸騰し、今後の成行については財界各方面の注目を惹いてゐるが、結城藏相は廿日衆議院赤字公債委員會における松田正一氏(民政)の質問に左の如く答へ、現在の株價昂騰は健全なる投資に基くものなるも、今後投機的投資の危險性については財界の自重を要望するとゝもに、政府においても今後の市場の推移を注視する要ある旨を明にした

最近の株式高は事業の將來の發展を見越して買はれた結果であつて、健全な株價を示してゐるものであると思ふ、たゞ將來において株價が思惑により不當に上昇する危險性があるやうに認められるので充分注意して行く考へである、勿論目下の株式高に對し政府としてこれを抑制するやうな措置を講ずる考はない

嚴重附帶決議を附し 豫算案承認
(貴院各派態度)

【東京國通】貴族院における豫算審議經過は順調に進捗して廿二日中に質問終了、分科會に移る豫定であるが、分科會日數に就ては會期も切迫してゐるので同日林委員長から政府に會期延長奏請の内意を質したうへ大體の方針を決める事になつてゐる、しかして豫算案に對する各派の態度は分科會に移つた後それぞれ協議し最終の豫算總會で決定する段取であるが、大體の意向は

今回の總豫算は未曾有の巨大なものであり、且軍費を偏重した跛行的豫算であるが內外の時局に鑑み已むを得ざるものと認め成立せしむる外はないしかし本年度內に使用せざる陸海軍經費各二千三百萬圓を本豫算中に計上したるは憲法上疑ひを有し妥當を缺く處であるから今後豫算編成に關しかゝることを先例として繰返さゞる樣政府に對し注意を促すべきだとの意見が强い、從つてこの意味の嚴重な附帶決議を附して原案通り承認することになる模樣である

黃慕松氏逝去

【廣東廿一日發國通】廣東省主席黃慕松氏は膽石病にて中山大學病院に入院加療中のところ廿日午後七時廿五分逝去した、享年五五、氏は日本陸士第五期砲兵科出身であつた

人事往來

▲大竹十郎氏(朝鮮總督府内務局長)二十一日來京中央ホテル
▲榛葉孝平氏(同土木課長)同
▲岡田修一氏(同海事課長)同
▲松崎嘉雄氏(同遞信技師)同
▲坂本嘉一氏(同土木課事務官)同
▲加藤韓一氏(同技師)同

"對滿諸政策は 既定方針で進む"
打合せ終へ東條參謀長歸途へ

【東京國通】東條參謀長は去る十二日上京以來連日陸軍省參謀本部その他關係方面と十二年度より實施される在滿兵備の充實計畫、滿洲國產業開發計畫その他對滿重要政策について中央部との打合せを終つたので、二十日午後十時廿分東京驛發の鳥羽行列車にて西下、まづ伊勢神宮に參拜したる上廣島において板垣第五師團長と會見打合せを行ひ、さらに京城に立寄つて小磯朝鮮軍司令官と會見打合せ協議をとげた上、廿五日新京に歸任する豫定であるが、車中次の如く語つた

今回の東上は參謀長に就任したので諸般の對滿政策について中央部の指示をうけに來たのであるが、各關係當局とも充分打合せを行つた、しかし私は就任してまだ十數日を經たのみで個々の問題については研究してゐないから意見は語れぬが滿洲の治安は產業開發、大量移民の派遣には何等不安を伴はないだけになつてゐるから、それら諸計畫は既定方針通りどしどし進めて行く考へである

彼岸の仲日だといふのに新京には大雪が降つた滿洲では敢へて珍らしい現象ではないが積雪量の多い點では近來珍らしいことだ▼雪は豐年の貢だといふから百姓は喜ぶだらうが滿鐵では除雪費が嵩むので大こぼし▼市民の一人一人でなくとも各戸自家の前だけでも除雪すれば大助りだ▼一つには運動にもなる言はば一擧兩得だ必ず實行しやうではないか▼年度末になると毎年異動で勤め人は落ちつかない近いところでは電々重役の更迭があり▼四月に入つて會社や銀行でない或る大きなところに大異動があるらしい▼たまには首のすげかへも仕事の上に清新味を加へてよきことだが人選はどこまでも人物本位を忘れてはいかぬ▼春になると毎年のやうに狂犬が橫行して相當數の被害者が出るし▼軍犬の增殖にも一大支障を來すので本年は徹底的に驅除を行つて貰ひたい▼それと同時に最近のさばり出した頭の黑い狂犬の跳躍振りが大分方々で耳に入るが▼當局はよろしくその方面に對し毒饅頭を喰はさないまでもぶつすり一本注射を打つて戴け

三大臣移民視察へ

張外交部、丁實業部、孫財政部各大臣は佳木斯の移民地視察のため二十一日午後六時三十分發あじあで出發した(寫眞は新京驛出發の三大臣)

金現送第三回分 千五百萬圓近く發送

【東京國通】政府金現送豫定額五千萬圓の內既に第一回約一千七百五十萬圓、第二回約一千六百七十萬圓、合計約三千四百二十萬圓をアメリカに向け發送したが、近く第三回分として約一千五百八十萬圓を現送する豫定で輸送船は未だ決定してゐないが、大體二十三日神戶出帆の郵船大洋丸か或は來月六日神戶出帆の秩父丸となる模樣である、政府の金現送はこれで一段落とし、その後のものに關してはしばらく時期をみることになる筈である

國民健保法案 理事會の修正案

【東京國通】難航をつゞけてゐる國民健康保險法案は廿日の衆議院本會議でも論議紛糾し、つひに最後的決定までに至らずさらに廿二日の本會議に持越されたが、大勢はすでに決してをり、結局理事會の修正案通り妥協が成立する模樣で、政府も理事會の修正案に對してはこれを鵜呑みにして同意するから、衆議院は廿三日午後の本會議に上程右修正案は可決されるものとみられてゐる、理事會の修正案左の如し

一、問題の第九條(醫療組合の代行に關する規定)を削除し、附則に(三月末日現存する產業組合にして醫療設備の利用を目的とするものは命令の定むるところにより地方長官の許可を得て組合の事業を行ふことを得)を加へ

一、附帶決議=政府は速かに官制による調査會を設け醫藥制度に關する根本方策を樹立すべし

浦鹽商船組問題につき ソ聯回答

【モスクワ廿日發國通】ソヴイエト政府は曩に北日本汽船朝鮮郵船のウラジオ代理店である商船組支店に對し水運人民委員部の決議を以てその營業禁止を通達したので日本政府はモスクワ駐劄大使館を通じて嚴重抗議を行つたが、廿日ソヴイエト外務人民委員部は日本大使館に對し左の如き通告を寄せるところあつた

一、ソヴイエト政府は水運人民委員部が商船組今後の營業を許可せぬ旨決議したのを變更する譯には行かぬ

一、但し日本諸港とウラジオ間を航行する船會社がその營業目的遂行のため會社自身の代理店をウラジオに置くことは許可する

蒙民文化への光明 「蒙古新報」增刷
―新文章の整備にも努力す―

蒙政部が蒙民文化の向上、政治教育の普及の爲積極的蒙民施政方針の下に發刊した蒙古新報は三月十二日その第一號を發送したが、蒙民の關心は豫想外に大きく地方においては各號の到着を待つて奪ひ合ひの有樣で第一號は三千部を印刷したが需要に應じ切れず第四號は四千二百六十部、第五號は五千百五十部、第六號は五千六百部、第七號は六千部第八號は六千五百部と每號增部の已なき狀態であるので蒙政部ではこれを一萬部に增し、內容にも一段と精彩を放たしむべく計畫を進めてゐるしかして蒙古文化の向上に一大支障を來してゐる方言を統一して標準語を整へること、文章と言語の不一致を是正すること複雜を極める外來語を矯正排除して、新語は總て日本語に統一すること等蒙古文化向上に努力してゐる、なほ在奉のドイッチエ・アルゲマイネ・ツアイトング紙特派員メイエル氏が蒙古新報の發刊を母國に報道したので、ドイツ人の蒙古人に對する關心を昂めてゐる旨外交部に通信が到着した

哈爾濱近郊の保甲制度確立
農民道場、農業事務所開設

【哈爾濱國通】哈爾濱市はその市街地の周圍に四百保甲の農業地區を擁し、自ら商業地區とはその經營を異にするので、別にこの街村組織ならびに職能の確立が要望されてゐるが、その確立は諸種の特殊事情より中央よりの街村條令の確立公布を俟つて行ふことゝし、取敢へず農民道場二ケ所、農業事務所二ケ所を設置して農村幹部の養成ならびに農業技術の指導を行はしめることゝなり、場所も農民道場は洗家王崗に、農業事務所は永發屯、朝陽屯の二ケ所に決定、職員の詮衡も終つてゐるが、一方保甲の運營に當つても漸進方針をとり、まづ哈爾濱市內外の乾糞肥料取引を保甲事務所をして行はしめるとゝもに取引年額七百餘萬圓に上る哈市蔬菜市場に對しては堂街、道裡、香坊、顧鄉屯の四ケ所に洗場設備を設けて蔬菜市場として完備せしめ、價格の公正を期するとゝもに手數料をもつて將來の保甲經費の一部に充當せしめる等漸進的保甲の經營化をはかることゝなつた

滿鐵十二年度豫算 近く認可

【大連國通】滿鐵十二年度豫算說明のため上京中の滿鐵主計課長木村常次郎氏は廿日歸連した、十二年度豫算の認可が遲延したのは政府持株の拂込廿萬圓の政府豫算が未だ議會を通過しないためであつて大體來週早々には滿鐵豫算も正式認可を見ることゝなつた右につき木村氏は左の如く語つた

大藏省に對する滿鐵の豫算內容說明は槪ね諒解を得てゐるのだが、十二年度收入豫算中に政府の拂込廿萬圓が計上してある關係で、表向には政府の豫算が確定しなくては滿鐵豫算も認可されない事になつてゐる、しかし來週早々には認可になる見込みだ、滿鐵社債の發行條件は今回の第五十四回社債から多少變更されたがこれは所得稅率資本利子稅率の五割引上げによるものであつて利廻においては變化はない、內地の資金はだぶついてゐるといふ程ではないが、大藏大臣始め關係者が滿鐵の事業に理解を持つてゐるので、資金繰は案外困難なく進むのではないかと考へる、附屬地行政權移讓後の諸問題に就ては十二年度は取敢へず暫行的に十二年度だけの方針が決定した、十三年度以降の恒久的根本的方針は次年度豫算編成時に決定されることゝならう

メキシコ公使 ア少將大連着

【大連國通】日本駐劄兼支那駐劄メキシコ公使エス・アギラル少將は南京政府に信任狀捧呈のため家族同伴南京に赴く途中、廿日午前八時廿分入港の扶桑丸で着連した、なほ同少將は約二ケ月の豫定で支那各地を視察歸京する

遞信異動

鞍山郵便局長 遞信書記 阿部敬四郎
任關東遞信副事務官(六等) 補奉天中央郵便局長、遞信局兼務を命ず
總務課爲替貯金係長 遞信書記 小島榮次郎
任關東遞信副事務官(七等) 補大連府金管理所長、遞信局兼務を命ず
公主嶺郵便局長 遞信書記 折田廣嗣
補鞍山郵便局長
開原郵便局長 遞信書記 廣瀨圭造
補公主嶺郵便局長
秘書課長 遞信書記 山中熊市
補開原局長

滿鐵重役動靜

【奉天國通】赴京中であつた宇佐美滿鐵理事は廿日午後零時四十分着列車で赴奉、大村總局長と協議の上同一時十九分發はとで大連に赴いたなほ大村總局長も廿一、三兩日滿鐵本社で開催される重役會に出席のため、廿一日午後一時十九分はとで赴連の豫定

擴張の一途を辿る ソ聯の軍備
=本年度軍事豫算三百億留=

社會主義祖國の防衛と世界革命の前衛をその任務とするソ聯の軍備は現下の國民、人民兩戰線對立の間隙に乘じ一擧にコミュニズムの制覇を目指し擴張又擴張の一途を辿り、東西兩國境における二國戰備の充實に狂奔してゐる、從つて政府豫算中に計上される軍事費も必然的に增大し去る一月十三日の聯邦共產黨幹部會において採擇された本年度政府豫算をみるに軍事關係豫算は

國防人民委員部　一〇一億留
內務人民委員部　一七億
國防工業人民委員部　一三億

を示し之に重工業人民委員部豫算八十八億、軍事豫算五十億を加算、このほか軍事資源確保の各豫算を合すれば、ソ聯の準戰時豫算は驚くなかれ三百億ルーブルにおよび一九三四年の五十億、同三五年の八十億、同三六年の二百一億三七年の三百億と通觀すれば軍事費の加速度的飛躍が想見される

陸軍兵力をみるに大戰前の百卅萬(內步兵八十ケ師團、騎兵三十ケ師團)から百八十萬(內步兵百ケ師團、騎兵三十ケ師團)の常備兵力を目標に邁進し、本年度軍事豫算の增加と徵兵壯丁の年齡短縮(一九一五年生れの壯丁半分、同一六年生れの全部)の結果、明年三月には常備陸軍兵力百八十萬といふ世界一の陸軍が完成されるのである、また空軍および機械科部隊についてはいづれも量質ともに世界一を目指してゐるのはソ聯軍備の一大特徵で現有飛行機數、戰車は各五千臺といはれ裝甲自動車をはじめ空軍、機械科部隊の補助兵器その他防空、防毒の裝備は大體完成の域に達し、殊に空軍擴張は昨年十一月開かれた第八回國民大會席上空軍代表の豪語に徵するも一九三七八兩年度において現有機數の三倍(約一萬五千臺)に達することは確實といはれ國內の廿四飛行機製作會社は三萬の熟練職工と五千の技師を擁し、七時間交代の勞働時間をもつて晝夜兼行で活動してゐるといはれる、さらにこのほか飛行士の養成、落下傘降下、防毒等の戰時訓練も一般國民に徹底されつゝある

東京、紐育を一氣に飛ぶ
驚異的國產機竣工 四月上旬羽田で御目見得

【東京國通】東京からニューヨークまで一氣に飛べる飛行機が出來上つた、駒場の航空研究所が去る昭和八年以來、所內總動員の劃期的大事業として

愼重

な研究の上に設計製作を進めてゐた長距離試作機はいよいよこのほど大森の瓦斯電氣工業工場において同社の奉仕的努力のもとに敢行し、四月上旬を期して列國航空界注視の內に羽田東京飛行場で晴れの御目見得をし、世界記錄への挑戰に乘出すことになつた、工事開始以來十四ヶ月その職工延人員無慮六萬人、工費七十餘萬圓、この飛行機は頭から尻尾まですべて理想的な流線型につゝまれて、飛行機は車輪といはず尾輪といはず操縱士の頭も足掛けの小さな穴も全くこの完全な流線型の中に引込まれてただ翼と胴體だけになつてしまふといふ仕組、翼幅二十八米と云ふから丸ビルの高さ程もある、細長い翼と胴體との關係は一見高度性能のグライダーのやうな感じである、これで全備重量九噸乃至九噸半六百馬力と云ふ比較的小さな發動機一基の力で千二百米乃至一千三百米の

滑走

の後一切空に浮んだらスピードは時速三百キロから二百八十キロで案外遲いが一萬三千キロ位迄の大距離を一氣に翔破して連續三晝夜以上の大飛行が出來る計畫である、此の數字は現在の世界長距離飛行レコードを五十パーセント內外の餘裕をもつて堂々打ち破るもので東京から大圈コースで東に廻ればニューヨークを飛び越して大西洋へ西に廻つてもイギリスを飛び越して大西洋へ出て仕舞ふ程の長距離を意味してゐる、研究所では更に愼重を期するため同機の完成を極秘に附して目下各樣の共同實驗を行つてゐるがその結果は全く新しい構造法をとつたにも拘らず、豫期以上の

好成

績をおさめた模樣で、試驗飛行に先立つて此の幸先のよい結果に關係者一同も喜んでゐる

林部隊 興京縣羅圈嶺で匪卅を擊滅

【奉天國通】園部部隊本部發表=木越部隊の林部隊は次期討伐準備の爲トラックに分乘し十九日午前九時卅分興京縣第四區羅圈嶺にさしかゝつた際匪首不明の賊團約卅を發見、直ちにこれを攻擊、二時間にして匪に多大の損害を與へて東方に潰走せしめたが、本戰鬪においてわが方兵士一名戰死、五名負傷した

楊木林南方で 滿人拉致さる

【哈爾濱國通】去る二月廿八日午前七時頃密山縣楊木林南方八キロ萬方山附近國境近くで建築用材伐採中の滿人于德水、張玉祥および馱馬一頭はソ聯人七八名のため不法にも拉致された旨當地機關に入電があつた

渡邊顧問着任

【奉天國通】今回鐵道總局顧問に任ぜられた渡邊右文大佐は前顧問草場少將と同車、二十日午後二時四十二分着あじあで總局關係者多數の出迎へを受けて着任した、同大佐は未だ關東軍に着任挨拶をなしてゐないがと前提し左の如く語つた

鐵道部門には從來から關係して來たが滿洲は始めてだなこともないが、滿洲は日本の生命線であり鐵道はその動脈である滿洲國の產業開發の基礎は鐵道網の擴充が先決の問題だ

なほ草場少將は廿五日午後一時十八分はとで離奉大連經由赴任の途につく筈である

奉天交通公司 登記を完了

【奉天國通】奉天交通公司ではかねてより登記手續中であつたが、十日正式登記を完了した
なほ重役の顏觸れ左の如し

專務取締役 河來之憲
常務取締役 肥田耕三
取締役 山口重次
同 關屋悌藏
同 溝江五月
同 宇佐美喬爾
常任監査役 權意誠
同 稅所牡吉

天氣と氣溫

けふの天氣 南西の風曇後晴
日の出 前六時四〇分
日の入 後六時五二分
月の出 後二時九分
月の入 前三時五三分
きのふの氣溫 最高零下二度四 最低零下六度九

滿洲國刑事訴訟法 (十五)

第三百六條 第百五十一條の規定に依り押收を爲したる事件に付罰金又は追徵を執行すべき裁判確定したるときは其の執行を終る迄押收は其の效力を存續す

第三百七條 押收したる贓物にして被害者に還付すべき理由明白なるものは之を被害者に還付する裁判を爲すべし、贓物の對價として得たる物に付亦同じ

假に還付したる物に付別段の裁判なきときは還付の裁判ありたるものとす

前二項の規定は民事訴訟の手續に從ひ利害關係人より其の權利を主張することを妨げず

第三編 上訴

第一章 通則

第三百八條 檢察廳及被告人は上訴を爲すことを得

檢察廳又は被告人に非ざる者にして裁定を受けたる者は抗告を爲すことを得

第三百九條 被告人の法定代理人又は夫は被告人の爲獨立して上訴を爲すことを得

但し第三百十六條第二項但書の場合は此の限に在らず

第三百十條 原審に於ける代理人又は辯護人は被告人の爲上訴を爲すことを得、但し被告人の明示したる意思に反することを得ず

第三百十一條 上訴は裁判の一部に對して之を爲すことを得、其の部分を限らざるとき裁判の全部に對して爲したるものとす

第三百十二條 上訴の提起期間は裁判告知の日より進行す

第三百十三條 上訴の提起期間は即時抗告を除くの外十日とす、即時抗告の提起期間は五日とす

第三百十四條 控訴又は上告を爲すには申立書を原法院に差出すべし、抗告を爲すには申立書を原法院又は原裁定を爲したる審判官に差出すべし

監獄に在る被告人上訴を爲すには監獄の長又は其の代理者を經由して申立書を差出すべし、此の場合に於て上訴の提起期間內に申立書を監獄の長又は其の代理者に差出したるときは上訴の提起期間內に其の申立を爲したるものと看做す

被告人自ら申立書を作成すること能はざるときは監獄の長又は其の代理者は之を代書し又は所屬官吏をして之を代書せしむるべし

監獄の長又其の代理者は原法院又は原裁定を爲したる審判官に申立書を送付し且之を受取りたる年月日時を通知すべし

第三百十五條 上訴申立書には原裁判を表示し之に對して不服を申立つる旨を記載すべし

第三百十六條 檢察廳、被告人又は第三百八條第二項に規定する者は上訴の拋棄又は取下を爲すことを得

法定代理人又は夫ある被告人は其の同意を得るに非ざれば拋棄又は取下を爲すことを得ず但し所在不明其の他の事由に因り上訴期間に相當する期間內に其の意見を徵することは能はざる場合は此の限に在らず

第三百十七條 被告人の爲獨立して上訴を爲すことを得る者は被告人の同意を得て上訴の取下を爲すことを得

第三百十八條 上訴拋棄の申立は原法院又は原裁定を爲したる審判官に之を爲すべし

上訴取下の申立は上訴法院に之を爲すべし

訴訟記錄原法院又は其の對置檢察廳に在るときは前項の申立書を原法院又は原裁定を爲したる審判官に差出すことを得

第三百十九條 上訴の拋棄又は取下の申立は書面を以て之を爲すべし、但し公判廷に於ては口頭を以て之を爲す事を得、此場合に於ては其申立を調書に記載すべし

第三百二十條 上訴の拋棄又は取下を爲したる者は其の事件に付更に上訴を爲すことを得ず

第三百二十一條 自己又は代表者若は代理人の責に歸すべからざる事由に因り上訴の提起期間內に上訴を爲すこと能はざりしときは上訴權恢復の請求を爲す事を得

第三百二十二條 上訴權恢復の請求は事由の止みたる日より上訴提起期間に相當する期間內に原法院又は原裁定を爲したる審判官に書面を以て之を爲すべし

上訴權恢復の原由たる事實は之を疏明すべし

上訴權恢復の請求を爲す者は其の請求と同時に原法院又は原裁定を爲したる審判官に上訴の申立書を差出すべし

第三百二十三條 上訴權恢復の請求を受けたる法院又は審判官は檢察廳の意見を聽き其の請求の許否に付裁定を爲すべし

前項の裁定に對しては即時抗告を爲すことを得

第三百二十四條 上訴權恢復の請求に付裁定を爲すべき法院又は審判官は裁定を爲す迄裁判の執行を停止する裁定を爲すことを得

法院前項の裁定を爲すときは被告人に對し拘留狀を發することを得

第三百二十五條 監獄に在る被告人上訴の拋棄若は取下又は上訴權恢復の請求を爲す場合に付ては第三百十四條第三項乃至第五項の規定を準用す

第三百二十六條 上訴の拋棄若は取下又は上訴權恢復の請求ありたるときは法院書記官は速に之を對手人に通知すべし

第二章 控訴

第三百二十七條 控訴は區法院又は地方法院に於て爲したる第一審の判決に對して之を爲すことを得

第三百廿八條 控訴の申立其の方式に重大たる瑕疵あるとき又は控訴權消滅後に爲したるものなるときは第一審法院は檢察廳の意見を聽き裁定を以て之を却下すべし

前項の裁定に對しては即時抗告を爲すことを得

第三百二十九條 前條の場合を除くの外第一審法院は訴訟記錄を其の法院對置の檢察廳に送付し檢察廳は之を證據物と共に控訴法院對置の檢察廳に送付すべし

控訴法院對置の檢察廳は訴訟記錄を其の法院に送付すべし

被告人監獄に在るときは第一審法院對置の檢察廳は被告人を控訴法院所在地の監獄に移すべし

第三百三十條 控訴の申立其の方式に重大なる瑕疵あるとき又は控訴權消滅後に爲したるものなるときは控訴法院は檢察廳の意見を聽き裁定を以て之を却下すべし

前項の裁定に對しては即時抗告を爲すことを得

第三百三十一條 第一審法院不法に公訴を却下したるときは判決を以て事件を第一審法院に差戾すべし

第一審法院不法に公訴を受理したるときは判決を以て公訴を却下すべし

第三百三十二條 第二百九十六條に該當する事由あるときは裁定を以て公訴を却下すべし

前項の裁定に對しては即時抗告を爲すことを得

第三百三十三條 控訴法院に於ては前三條の場合を除くの外被告事件に付更に審判を爲すべし

第三百三十四條 第二編中公判に關する規定は別段の規定ある場合を除くの外控訴の審判に付之を準用す

季節はづれの大雪 四年來の奇現象

氣紛れ低氣壓、積雪量十五糎 除雪費に又復大赤字

二十一日午前十一時頃から降り出した雪は一寸の小やみもなく午後四時半頃まで降り續け十五センチ程の積雪を見せた、事務局では早速苦力を召集して除雪に大童となつてゐるが、この季節外れの大雪に赤字の除雪費がまたぐく膨脹するとて大こぼしである、新京に於ける三月に入つての大雪記錄は大正十二年の十四センチ、昭和九年二十三センチそれに今度の十五センチと三同位なもので先づ季節としては稀有の大雪であつた

なほ降雪範圍は低氣壓を中心に附近五百キロ内外で大連は雨が降り、哈爾濱から北は降つてゐない、天候は低氣壓が通過したので廿一日の夜から次第に恢復して二十二日晝頃からよくなるだらうと觀られてゐる【寫眞は降雪最中の市内所見】

豆タク飛ばさる

二十一日午前十一時頃不意の白魔の襲來に先方見えず義和路、同治街交叉點で司法部の自動車に豆タクが衝突豆タクははねとばされて顚覆約二百圓の損害を蒙つた

大連行旅客機 大屯附近て不時着

二十一日午前十時三十分新京發大連ゆき航空會社第二便旅客機（兒玉氏操縦）は公主嶺上空まで飛んだが折からの大吹雪のため引き返へし航行の途午後零時大屯から離る五百メートルに地點の畑中に不時着した、乘客は榮航空會社々長以下五六名の乘客があつたが幸ひ客、機體とも無事で一行は救護自動車で午後一時歸京した

大雪で、却つてお寺は大賑ひ

彼岸中日、押かけた善男善女

きのふ國都の彼岸中日は朝からの雪で全市が眞白く淸められ街頭の人足は少くなかつたが、各寺院の彼岸法要は大雪をおしてお詣りの善男善女で雪のため却つて多く、二時から營まれた晝の法要は稀にみる盛會で西本願寺の如きは雪に閉され引き續き夜の法要まで居續けた五十餘名の參詣者は御堂で焚出しの接待をうけた始末で夜の法要も超滿員で和かな中日は過ぎた

〝〝〝〝〟〟〟〟仕事と共に死も

雪掻き苦力〝あじあ〟で御難

廿日午後一時五十五分頃東五條通りガードを距る百米程の鐵道線路で畠山組の人夫五人が除雪中折り柄〝あじあ〟が驀進して來たのを猛烈な雪のために知らず遂近くになつて狼狽して逃げ出したが逃げ後れた一人は無慘にも胴體を三ツに轢斷されて即死、一人は車輪にはねとばされて裂傷を負ひすぐさま滿鐵醫院に擔ぎ込まれたが生命覺束ない、この兩人共畠山組が思はぬ降雪で苦力不足を生じ臨時に今日使つたもので姓名その他判明せぬ

早くも買占戰

四月一日酒の値上げを前に 小賣商、豫約に狂奔

滿洲酒一升に付二十五錢の値上發表が値上の本元卸商に市中の小賣商にまた一般需要家にどう響いて來るか？右三者各々立場は異にしてゐるがまさに千載一遇の酒異變が齎すところの書き入れ時でもあり家庭經濟輕重のカナヘを試練される重大時局でもある、いよく四月一日から否が應でも一升二十五錢と言ふ大巾値上だ、卸商と小賣商との帳尻勘定はこの二十五日と言ふから資金繰りに聰明な小賣商のことだ、常識的にもその本格的な買占め戰は廿六日に入るやとたんに火蓋が切られるものと見られてゐるがどうしてく、こゝ數日の間に早くも大量買占めの前哨戰が手持沸底を考慮する利に敏い小賣商間の豫約注文となつて表れた

滿洲酒『千福』について調べて見ると、この注文が市内だけで既に三百箱（一箱二斗四升）に上つた、量にすると驚くなかれ、六十六石、升目では六千六百升となる勘定である、市外では京濱沿線の六十箱、京圖線方面からも近日中に注文が齎される筈で、この外滿鐵及び滿洲國官吏消費組合からも相當の豫約注文が期待されてゐる、千福の卸商では買占め戰に備へて手廻しよく、奉天釀造元に對して早くも二車（六百箱）の廻送方を依賴してゐるが、この外に倉庫手持が二車と言ふから都合四車千二百箱の黄金貯水池が目下滿を持して放たず、廿六日から月末にかけて卸商から小賣商に、小賣商の手から需要家の手にドッとばかり押し流されのゆく譯である、一方買占めたお酒が手持となれば四月一日に入る限りトタンに二十五錢と刎ね上るのだから時ならぬお酒インフレを狙ふ小賣商の買占め戰はこの月末にかけて物凄いものがあらう

釣錢詐欺捕はる

さきにつるや食堂で十九日またビリケン食堂に釣錢詐欺あり新京署では人相手口より見て同一犯人と兼て手配捜査中二十一日午前十時頃石碑嶺炭鑛附屬地附近より鄭刑事が被疑者慶尚北道申瑛鎬（三十六）を引致嚴重取り調べたところ前記の外吉野町四丁目淫舟食堂、高砂食堂、大衆食堂、明石食堂から何れも親子丼を註文しては釣錢を詐取したことを自白したが、まだ外にもある見込みで目下取調中である

手當次第に盜む

二十日午前十一時三十分頃富士町を徘徊する擧動不審の慶尚北道生れ金水龍（二十三）を新京署鄭刑事が取り押へ取調べの結果康徳會館前で二台、世界堂ビル前で一台、驛前置場で一台と路上の自轉車を乗逃げ失敬したほか領事館からオーバーを吉野町二丁目勉强堂から二十五圓を窃取したことを自白した、餘罪多數あり目下取調中である

大穗參事官慰靈祭 二十五日執行

去る六日午後一時ごろ三江省饒河縣小南地の奥地で匪團遭遇激戰の結果不幸敵彈に斃れ護國の鬼と化した縣參事官大穗久雄氏の慰靈祭は來る二十五日午後二時半より記念公會堂に於て民政部主催で擧行せられる事となつた

南嶺、新市街から 天然痘患者

南嶺中央警察學校小林仁志（廿四）氏、永昌路政府代用官舍四四七號遠藤フサ子（二十五）さんは兩三日前より市立病院で加療中のところ二十一日兩者共痘瘡に確定したが原因、傳染系統全く不明である

軍用犬登錄審査 好成績收む

滿洲軍用犬協會新京支部の登錄犬審査は二十一日午後一時から支部で執行された關東軍出名部獸醫を首め源田、岡里宇、高月、押川、立石等各役員出席、降雪のため懸念されたが受審二十三頭に上り豫期以上の成果を收めて四時過ぎ終了した

航空會社 廿六日に株主總會

【奉天國通】滿洲航空會社では來る廿六日午前十時より奉天本社で株主總會を開催、國内航空路充實に伴ふ增資を附議し、滿鐵代表重役山口新京事務局長の取締役辭任に伴ひ鐵道總局營業局長佐原憲次氏を取締役に薦任することゝなつた

中央區町會總會

新京中央區町會は二十日午前十一時より記念公會堂に於て第三回總會を開催、會務報告等一時間にして終了、午後は町内會家族一同目下公會堂で開演人氣を呼んでゐる二代目天勝を買ひ切つて雪の日の午後をゆつくり樂んだ

新京競馬俱樂部通常總會

新京競馬俱樂部通常總會は二十日午後二時より記念公會堂にて開催され前年度事業、會計報告、役員の改選を行ひ五時終了した

三井電々參事

約一ヶ月に亘り東京大阪方面へ出張視察中であつた電々會社參事三井實雄氏は二十日朝歸任した

中坪君訃

新京驛出札係中坪增男氏は八島通り一號十五の自宅で病氣加療中のところ藥石効なく二十一日午前四時死亡した、享年二十八才

カフエ銀猫開店

豐樂路一二六にカフエー銀猫が大々的に開店した、從來の喫茶をカフエーに改め新進の女給群と優秀な料理人に依てホールのサービス、味覺のサービスと相俟てお客の人氣を呼んでゐる

春の樂壇に贈る

哈爾濱交響樂團 新京廿九日開演

未完成、提琴協奏曲（ベートーベン）など 豪華を盛る曲目

エルマンの來京に漸く活氣付いて來た國都樂壇に贈る快ニュース＝哈爾濱交響樂團會長に施履本市長を在哈各機關の代表を顧問に戴く哈爾濱交響管絃樂協會は結成第一回の公演を南滿で行ふこととなり過日來會務取扱者川股重太郎氏が各方面へ接衝中のところ大連廿七日奉天二十八日と決定國都に於ては同樂壇主催滿鐵新京事務局社會係滿鐵社員俱樂部及び本社後援にて二十九日午後七時から西廣場滿鐵俱樂部で交響管絃樂大演奏會を催し市民多年待望の大オーケストラを紹介することに決定した

同交響樂團は東支鐵道華やかなりし頃東洋一を誇つた同鐵道附屬管絃樂團の流れをくみ帝政露西亞の盛んなる頃モスクワ帝室音樂院に學んだ優秀なる樂員五十餘名を擁するもので日本の新交響樂團と同樣滿洲唯一の本格的管絃樂團として輝かしい存在を示してゐる、指揮者は世界的に名聲を馳せてゐる、シュワイコフスキー氏樂長はミッシャエルマン氏と學窓を同じくせる名ヴァイオリニストトラフテンベルグ氏である

なほプログラムは左の如く豪華を極めたもので蓋し新京空前の壯擧である

◇第一部＝一、管絃樂エグモント序曲（ベートーヴェン作）二、管絃樂未完成交響樂ロ短調（シューベルト作）第一樂章アレグロ、モデラート第二樂章アンダンテ、コン、モト三ヴァイオリン獨奏ユボンチオスモロフスキー氏ヴァイオリン協奏曲第一樂章（ベートーヴェン作）休憩二十分

◇第二部＝四、管絃樂第五交響曲中のアンダンテカンタビーレ（チャイコフスキー作）五、管絃樂舞曲白鳥湖（チャイコフスキー作）（イ）或る場面（ロ）ワルツ（ハ）白鳥の舞踏（ニ）或る場面ハープ獨奏ドルジーニナ女史ヴァイオリン獨奏トラフテンベルグ氏チエロ獨奏プリホーチコ氏（ホ）チヤルダス、六、管絃樂ハンガリアンラプソディー第二番（リスト作）七、管絃行進曲スラヴマーチ（チャイコフスキー作）＝【寫眞は哈爾濱交響樂團と樂長トラフテンベルグ氏】

連日超滿員の盛況 松旭齋天勝一座 いよく今夜千秋樂

公會堂に我社後援の下に開演中の松旭齋天勝一座の移動式大レビュー、ダンス、ジャズ歌劇、大小の魔奇術は充實した内容にすつかり觀客の滿足を買ひ連日超大入滿員の盛況をつゞけたが、今二十二日夜が千秋樂である

オペレッタ、軍國カフエー、小奇術、水玉、戲れ、グッド・ナイト・ベビー、暗い日曜日、ニッポン娘、並木の雨、東京ラプソディー、スペイン情緒の唄、伊太利の庭、黒い瞳、ダーダネラ、コメディーマジック、奇術小品、ナンセンス粗忽の使者、チャップリンのサイクリンアックル、寸劇、新古流行歌選集、天左の大魔術同魔のホテル、曲技サイクリンアックル、天勝の大魔術オリムピック模樣などおもしろいものぞろひ

本紙愛讀者のために大人一圓のところを七十錢に割引の優待券は昨夕刊までの本紙に二枚づゝ刷込んであるから御利用を乞ふ（寫眞は超滿員の會場）

中野吉林總領事代理 榮轉祝賀宴

滿鐵新京事務局、新京居留民會、市政公署共同主催の中野總領事代理榮轉祝賀宴は廿一日午後六時半よりヤマトホテルにおいて開催、植田市政公署總務處長、山口滿鐵事務局長其他官民約三百名參集、盛大に新吉林總領事代理の門出を祝つた【寫眞は祝賀宴】

龍江省下級警察官の待遇改善

【齊々哈爾國通】龍江省では滿人下級警察官の待遇改善のためさきに皆川總務科長を赴京折衝せしめたところ民政部では財源がなく國庫補助もなし得ないので、當分は缺員の補充を行はずその豫算を待遇改善に振り替へる方針をとることゝなつた、省當局では取敢へず警視最低十圓案を實現すべく省財務當局と交渉中である

馬車内の忘れ物

▲三月二日三笠町より吉野町まで（インキ壺二個）大經路警察署保管▲二日西公園より白菊町まで（滿鐵帽子一個）同▲四日風呂敷包一個（滿婦人服及帽子在中）同▲六日紙函一個（內容品不明）同▲七日（初等日本語讀本四册）同▲八日（砂糖罐詰一包）同▲十一日（皮套一枚）同▲十四日朝日通より四馬路まで（綠花包一ヶ・紙函一・靴一足）同

プレンソーダ

ご面相はいま業平と呼ばれる程のつべりしてゐるが上州長脇差の血を享けてゐるせいか▼〝鯉沼でござんす〟と傳法張りの口をきく滿鐵新京事務局の鯉沼兵士郎君▼青年學校入學座談會の席上暇一暇して曰く▼これは私案で御座んすが費用の點から考へて生徒にはハッピを着せては如何で御座んす▼に一同なる程それは妙案で御座んすだか生徒の士氣に關しませぬか▼フウームなる程左樣で御座るか

ラヂオ

あすの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 廿二日(月曜日)

(朝) 七・三〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連) 七・五〇 初等滿洲語講座 講師 秩父固太郎
八・一五 氣象通報・朝の音樂(大連)
八・四五 建國體操
九・三〇 經濟市況(東京)
一〇・〇〇 家庭講座 滿洲の氣象の話 關東觀測所長
一〇・二〇 料理獻立(奉天) 宍戸新次郎
一〇・三〇 家庭メモ
一〇・四〇 經濟市況(大連・新京)
一一・三五 經濟市況(大連)

(晝) 一一・四〇 經濟市況(東京)
一一・五九 時報(東京) 〇・〇五 晝の演藝(レコード) 〇・四〇 ニュース(東京・新京)
一・〇〇 經濟市況(大連・新京)
三・〇〇 經濟市況(大連・新京)
三・五〇 經濟市況(東京)
四・〇〇 ニュース(東京・新京)
四・三〇 經濟市況(大連・新京)
五・二〇 ニュース(鮮語)
講演(鮮語)

(夜) 六・〇〇 子供の時間(東京) 講演 日中問題の將來 金
お話 日本でラヂオが始つた頃 柴田寛
六・二〇 コドモの新聞(東京) 村岡花子
六・二五 講演(大阪) 無線眞空管の進歩 工學博士 岡部金治郎
七・〇〇 ニュース(東京)ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七・三〇 講演(東京) 放送開始十二周年記念日を迎へて 日本放送協會々長 小森七郎
七・四五 謠曲(東京) 忠度 シテ 喜多六平太 ワキ 高木義男 地謠 喜多實 地謠 伊藤千六 地謠 友枝喜久夫
八・二五 管絃樂(東京)(懸賞募集一二等當選曲) ヴァイオリン 日比野愛次 日本放送管絃樂團 指揮 山田耕作
一、管絃樂の爲の日本の俗謠に依る前奏曲 山田和男作曲
二、ヴァイオリンと室内管絃樂の爲の奏鳴曲 長調 秋山準作曲
引續き獨唱(東京) 一、ひとやにて、外四曲 佐藤美子 ピアノ伴奏 高木東六
九・〇〇 長唄犬神(東京) 唄 富士田新藏 同 富士田晉三久 同 柏伊三郎 三味線 杵屋已四太郎 同 柏仁三郎 三味線 堅田喜三郎 笛 望月太左衛門 小鼓 柏扇十郎 大鼓 堅田喜三久 太鼓
九・三〇 時報・ニュース(東京)ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)
一〇・〇〇 ヴァイオリンと管絃樂—哈爾濱鐵路俱樂部より中繼—
一、ヴァイオリン獨奏 ポンチエ、オスモロスキー(十三才)
二、管絃樂 イスパニヤ・シムフォニア ラフマニノフ作曲 カプリチオ・イバニオル リムスキ・コルサコフ作曲 指揮 哈爾濱交響管絃樂團 シュワイコフスキー
一〇・三〇 北滿の時間(哈爾濱)

管絃樂と獨唱

山田耕筰指揮て募集當選曲發表

獨唱は佐藤美子夫人

一、管絃樂のための「日本の俗謠に依る前奏曲」 山田和男作曲

作曲作者の言葉

三年程前、即ち私が廿一二歳の頃、日本の俗謠風な曲を作曲しようと、しきりに頭の中にプランをたてたことがありました、しかしそんな型に拘束されて何の根據もなく作曲することが何んだか自分を僞る樣な氣がして私はほのかに感じないでもない心殘りをふみにじつて今日まで參りましたが、このたび人々の勸めによつて私の中にあつたこのふみ止らうとする幽かな慾望を甘やかせて曲を綴つてみたのであります。が、やつぱりそれは誠實を缺いた危險を伴つた作品となつて表はしてしまひました。春夜の吐息の樣な纎弱な世紀末の行路病者の樣なデーの翼に震へながら……でもばかばかしい作ら、この意味でこれは私への最大の敎訓の曲です。———

私自身の管絃樂のための處女作で三管の大編成で書かれて居ります大體が二つの部分に分れておりますが常に一つの俗謠風の旋律を圍んでファンタジーが飛びめぐつてゐる形の曲です。———

學校の暇々を盜んでは二週間でともかくも無理して書きあげてしまひました。

二、ヴァイオリンと室内管絃樂の爲の「奏鳴曲」へ長調 秋山準作曲

第一樂章 アンダンテとアレグロ
第二樂章 日本歌謠主題は依るデルゲット
第三樂章 俗曲主題に依る民謠風ロンド

作者の言葉

此のヴァイオリン・ソナタは昭和十年に書かれたもので、ヴァイオリンと管絃樂器との對立が意圖されて居るヴァイオリンは獨奏、全奏或は分奏となり獨奏はコンサート・マスターが行ふ

第一樂章はソナタ形式、第一主題及副主題は芭蕉紀行集の「あらたふと靑葉若葉に日のひかり」から取材され日本音階に依る旋律よりなる。

第二樂章は三部形式主部主題旋律は同じく芭蕉紀行集の「閑かさや岩にしみ入る蟬の聲」から取られ、トリオには子守唄がメンゴのリズムで用ひられて居るが、我々の耳に浸み込んで居る旋律に殆ど加工が施されないで生のままの姿で取扱はれて居る。

第三樂章の主題はロンド形式の二小節以後は正確で加工さない。從つて自由に取扱はれて變形せられて民謠の直接的氣分を醉し出す事が意圖されて居る。全曲は民謠風な中央部の後に三聲のフガートが出現するがその第一樂章の第二主題と第二主題が循環的に出現する此の樂章には複調的なる試みが若干行はれて居る。

謠曲「忠度」

後七・四五(東京)

シテ 喜多六平太
ワキ 高木義男
地謠 喜多實
地謠 伊藤千六
地謠 友枝喜久夫

げにげにこれは理なり藻汐焚くなる夕煙、絶間を遲しと鹽木採る道こそかはれ里離れの、人音稀に須磨の浦、近き後の山里に、柴といふもの〻候へば、鹽木の爲に通ひ來る、餘りに愚なるお僧の御諚かなやな、げにや須磨の浦餘の處にやかはるらん、それ花につらきは峰の嵐山颪の、音をこそ厭ひしに、須磨の若木の櫻は海少しだにも隔てねば、通ふ浦風に山の櫻も散るものを、はや日の暮れて候、一夜の宿を御貸し候へ、げにお宿かな、參らせ候はんや、此花の蔭ほどのお宿の候べきか、げにげにに花の宿なれども、誰を主と定むべき、行き暮れて木の下蔭を宿とせば花や今宵の主ならましと、詠めし人も此の者の下痛はしや、我等がやうなる蛋だにも常には立寄り弔ひ申すに、お僧達はなど逆緣なりとも弔ひ給はぬ、愚にまします人々かな、行き暮れて木の下蔭を宿とせば、花や今宵の主ならましと詠めし人は薩摩の守、忠度と申しゝ人は此一の谷にて討たれしかば、ゆかりの人の、植ゑ置きし跡のしるしの花ぞかし、うたてやさしも俊成の、和歌の友とて馴れ馴れし、宿は今宵の主の人、名も忠度の聲聞きて花の臺に坐し給へ、有難や今よりは、かく弔ひの聲聞きて佛果を得んぞ嬉しき、不思議や今の老人の手向の聲を身に受けて、悦ぶ氣色見えたるは何の故にてあるやらん、お僧に弔はれ申さんとて、これまで來れりと、夕べの花の蔭に寢て夢の告をも待ち給へ、都へ言傳申さんとて花の蔭に宿り木の、行き方知らずなりにけり行き方知らずなりにけり。袖を片敷く草枕、袖を片敷く草枕夢路も無な人々月の跡見えぬ磯山の夜の花に旅寢して、心も共に更け行くや、嵐烈しき氣色かな。嵐烈しき氣色かな。恥づかしや亡き跡に姿をかへす夢のうち、覺むる心は古に迷ふ雨夜の物語申さん爲に魂魄に、移り變りて來りたり、さなぎだに、妄執深き娑婆なるに、なにかなかかの千載集の、歌の品には入りたれども、勅勘の身の悲しさは、讀人知らずと書かれしこそ、妄執の中の第一なれ、されどもそれを撰じ給ひし、俊成さへ空しくなり給ふ、御身は御内に在りし人なれば、今の定家君に奏し、然るべくは作者を附けてたび給へと、夢物語申すに須磨の浦風も心せよ。げにや和歌の家に生れ其の道を嗜み、敷島の陰に寄つし事人倫に於て專らなり。中にも彼の忠度は、文武二道を受け給ひて世上に眼高し、抑々後白河の院の御宇に、千載集を撰ばる、五條の三位俊成の卿、承つてこれを撰ず。年は壽永の秋の頃都を出でし時なれば、さも忙はしかりし身の、さも忙はしかりし身の心の花か蘭菊の、狐川より引き返し、俊成の家に行き歌の望を歎きしに望足りぬれば、又弓箭にたづさはりて西海の波の上、暫しと賴む須磨の浦源氏の住所、平家の爲はよしなしと知らざりけるぞ儚き、さる程に一の谷の合戰、今はかうよと見えしかば、皆々船に取乘つて海上に浮む。我も船に、乘らんとて、汀の方に打出でしに、後を見たれば、武藏の國の住人に、岡部の、六彌太と名宣つて、六七騎が間、追つ懸けたり、こゝこそ望む、所よと思ひ、駒の手綱を、引つ返せば、六彌太やがて、むずと組み、兩馬が間に、どうど落つ、彼の六彌太を、取つて押さへ、腰の刀に手を掛けしに。六彌太が郎等、御後より立廻り、上にまします忠度の、右の腕を打落せば、左の御手にて六彌太を取つて投げのけ、今は敵はじと思し召してそこ退き給へ人々よ西拜まんと宣ひて。光明遍照十方世界念佛衆生攝取不捨と宣ひしに御聲の下よりも。痛はしや敢無くも、六彌太太刀を拔き持ち終に御首を打落す。六彌太心に思ふやう。痛はしや彼の人の御死骸を見奉れば、其の年もまだしき、長月頃の薄曇降りみ降らずみ定め無き、時雨ぞ通ふむら紅葉の、錦の直垂はたゞ世の常によもあらじ、いかさまこれは公達の御中にこそあるらめと御名ゆかしき所に、服を見れば不思議やな短冊を附けられたり、見れば旅宿の題をする、行き暮れて木の下蔭を、宿とせば、花や今宵の、主ならまし。忠度と書かれたり、さては疑ひ嵐の音に、聞えし薩摩の守にてますぞ痛はしき、御身此の花蔭に立寄り給ひしを、かく物語り申さんとて、日を暮し留めしなり、今は疑ひよもあらじ、花は根に歸るなり我が跡弔ひてたび給へ、木蔭を旅の宿とせば花こそ主なりけれ。

戀愍 髑髏組 (映畫化 上演)

林杢兵衛 作
金子士郎 畫

流轉(三) (三十七)

「え、ぢやア矢ッ張りさうで御座んしたか。今も此處でお噂申して居りやしたところで、誠にどうもお勇ましい次第で御座んして……」

「いや、これも武家の習慣で當然のことぢや」

「手前共もあの日、たゞ駕籠の御用を務めやしただけの御縁で御座んすが、何んだか他人事たア思はれません。若旦那のお心のうちは、さぞ御無念で御座んせうとお察し致しやす」

「それも人情ぢや、忝なく思ふぞ」

「いゝえもう手前共には、深え事情は分りやせんが、あの島宗とか云ふ浪人は聽い奴ださうで御座んすねえ」

「さうぢや、深夜、盜賊に等しく押し入つて、父上を手にかけた不埒者だ」

「それでもまア、何んて憎い奴で御座んせう。その時、若旦那はお屋敷ではなかつたんで御座んすか？」

「拙者は、その時丁度離れに居た。騷についたばかりだつたが、曲者ツ—と云ふ父上の聲に、驅けつけて見れば既に時遲く、無慙ながら父上には御最後ぢや」

「それはどうも、誠に御殘念なことで……」

「此の上は、假令何地の極に逃げ隱れやらうとも、必ず探し出して此の怨みは晴さずにおかね」

「御尤もさんで御座んす。あつし共も蔭ながら、目出度く本懷の日を祈つて居りやす」

何にがために勘太と小六が、これ程までに調子を合せて藤三郎を勵ますのか？ そこには矢張小さな慾望を滿たしたい野心が潛んでゐる。

藤三郎は、すつかりいゝ氣持に[illegible]をして

「時に其の駕籠空いてゐるのか？」

「へえ〳〵空いて困りやす」

「同じことなら、そち達の駕籠に乘つて參らう」

「有難う存じやす」

二人は駕籠を藤三郎の前へ運んで、いゝ氣になつて乘り込む藤三郎。

「腕もいゝ、折紙だ、惚れをあげておいてくれ。そち達と話しながら行かうぢやないか」

「左樣で御座んすねえ」

氣のない返辭。流石の二人も[illegible]らしくなつたやうだ。

「ぢやア兄貴、ぼつ〳〵往かうぜ」

「合點だ」

駕籠は雲に、搖籃のやうにゆれだした。何んのことはない、まるで行樂の旅でもあるやうだ。

「そも〳〵古來此の仇討と云ふのは、武門の譽としたものぢや」

「左樣で御座んすかねえ」

話しながらの道中で、仇討らしい緊張味は何處にもなく、右顧左眄牛の歩みだ。

「名高い仇討も澤山あるが、そち達は存じて居るか？」

[illegible]で二人は返辭も出來ない。

「そち達には解るまいが、先づ一に富士。富士と云へば曾我の仇討。曾我兄弟だ。不倶戴天の父の仇敵工藤祐經たつた一人を討つに十八年もかゝつてゐる。あれならば誰でも討てさうぢや。しかも兄は其の場で死に、弟は捕へられたではないか。仇敵は討つても己が死んでは何んにもならない」

「さうで御座んすかねえ」

思ひ出したやうに同じ返辭だ。

「次が昨年の仇討。あれを即ち元祿の快擧と云ふ。ところが拙者に云はしむれば、あれも大した事ではない」

「へーえ、左樣で御座んすかねえ」

「考へて見ろ、たかゞ知れた老ぼれ一人を一年と九ケ月もかゝつて、四十七人も揃つてやつと討つなど、曾我兄弟よりまだ惡い。あれが若し討てなかつたらそれこそいゝ恥晒しだ」

生返辭で聞き流してゐた二人だが、あまりのことに癪に觸つて、ゴグンと強く駕籠をゆすぶつて、面當にした。

「痛い—どうしたんぢや？」

「へい、誠に相濟みません、前棒が石に躓きやがつたんで……」

「氣をつけて呉れ、仇敵討つまでは大切な身體ぢや」